

メコンの風

Mekong no Kaze



2020年度活動報告

2020年4月～2021年3月

◆表紙の言葉

1区中心部の対岸にある2区トゥーティエム地区は、その間にあるサイゴン川のために開発が遅れているエリアでした。しかし川底を通るトゥーティエムトンネル、そして第1トゥーティエム橋と交通が整備されるに伴い、急速な発展をしています。写真は1区トンドックタン通りと2区トゥーティエム新都市区を結ぶ第2トゥーティエム橋。着工は2015年2月で、2021年の早い時期に完成が見込まれています。

発行者 ● ホーチミン日本商工会議所 (JCCH)
2020年度会頭 ● 岡田 英之
制作 ● JCCH 渉外・広報委員会
デザイン ● 安藤 司
発行日 ● 2021年4月

会頭ご挨拶・2020年度の活動を振り返って	2
在ホーチミン日本国総領事ご挨拶	4
JETROホーチミン事務所所長ご挨拶	4
特集: コロナ禍の中におけるJCCHの取り組み	5
2020年度第27回総会	8
活動報告	
テーマ1: 事業・生活環境の改善	9
テーマ2: 日本人社会への協力	13
テーマ3: ベトナム社会への貢献と交流促進	16
テーマ4: 学び	19
テーマ5: 協力と交流	22
会員の声	
委員会別活動報告	28
部会別活動報告	31
データで見るJCCH活動	36
JCCHニュースフラッシュ	38
事務局主要活動実績表	40
役員・委員一覧	45
部会理事一覧	46
2020年ベトナムの10大ニュース	48
事務局長退任にあたって	49

“コロナ”という難局下において JCCHの強さが発揮された一年間



ホーチミン日本商工会議所
会頭
岡田 英之

JCCHの会頭を務めさせて頂いた2年間を振り返って、最初に出てくるのは皆様への感謝の気持ちです。特に新型コロナウイルスが世界中に猛威を振った2020年度に関しては、多方面の方々にお世話になりました。皆様に心からのお礼を申し上げます。

●計3回にわたる入国オペレーション支援

会頭としての2年目を振り返って一番に思い浮かぶのは、やはり新型コロナウイルスに関連して発生した諸問題との戦いです。その中でJCCHの総合力が発揮され、JCCHの存在意義を象徴する活動となったのが、2020年5月から8月にかけて合計3回実施された、日本からベトナムへの入国オペレーション支援であったと考えます。

当時、日本からベトナムへの入国は厳格に制限され、当地で事業を展開する日本企業をはじめとした会員企業にも大きな支障が出ていました。そういった状況の打開策として、ベトナム政府の理解と協力を得て、在ベトナム日本国大使館、在ホーチミン日本国総領事館、JETRO、そしてハノイのベトナム日本商工会議所（以下JCCI）とダナンのダナン日本商工会議所（以下JCCID）、ホーチミンのJCCHが一丸となって実現したのがこのオペレーションでした。これを機に在越日本商工会議所の協力態勢が深まったのも意味深いことでした。

●日本から約1000人がベトナムに入国

隔離を受け入れてくださったクアンニン省、予想困難な事態の中で日系企業の状況に深い理解を示し、一連の特別手続に支援と協力をしてくださった、ベトナム首相府、外国投資庁、公安省入国管理局、運輸省民間航空局（CAAV）、在日本ベトナム大使館等、ベトナムの各政府機関、そしてこれらのフライトを担って頂いた航空会社、隔離施設となったホテル関係者の親切で柔軟な対応、一連の作業に多大なご支援を頂いた会員企業の皆様や、安全で円滑な本オペレーションの実現にご協力頂き、日本社会に対する好評価を支えてくださった入国者の皆様にも感謝をしています。

とりわけ、在ベトナム日本国大使館、JCCI、JCCIDの関係者の皆様と共にJCCHの内部で本オペレーションの実現に向けてご尽力くださった役員、事務局の皆様は、休日返上でまさに不眠不休の日々が続きました。新型コロナウイルスの影響により本業も困難な状況にある中、献身的な努力をされている姿には、今思い出しでも頭が下がる思いです。

計3回のオペレーションでベトナムに入国された日本人は約1000人にのぼります。希望しても搭乗頂けなかった方もいらっしゃると思いますが、各社からの個別申請による入国許可の運用が安定するまでの当初の緊急的な試みとしては、一定の成果を取ることができたのではないかと考えております。

●コロナ禍の中でも会員数は増加

コロナ禍の中で、このような入国オペレーション支援等での一連のJCCHの対応を評価頂き、JCCHの活動の意義が在ベトナム日系企業の皆様の間で再認識される契機となるという、有難い流れに繋がったようです。長年当地で事業をされている日本企業の方が新規で入会される例も増えるなどして、新規加入企業数は昨年を上回りました。新型コロナウイルスの影響で撤退される企業もありましたが、結果的には対前年比22社の純増となっています（2021年3月末現在）。新型コロナウイルスの影響もあって会員数の減少が続く在外日本商工会議所も多い中で、顕著な例外となっています。

●参加意識の高さで商工会議所活動を推進

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、中止となった行事はあったものの、委員会および部会においては、様々な方法を模索頂き、委員会活動・部会活動を推進していただきました。

例えば会員企業にとって貴重な学びの機会である各種セミナーは今年度、オンライン開催をメインに切り替えて実施されました。

また、毎年約300名の方にご参加頂いている「JCCH 懇親ゴルフ大会」は、関係役員、委員、ボランティアの皆様による直前までのご努力が実り、今年度も無事開催することができました。さらに社会貢献活動は、集会、イベント規制が依然として継続し、多人数での施設訪問等が難しい中、生活困窮者のための食堂の支援を今年度、初めて実施するなど活動の幅を広げてくださっています。

また財政の不十分な地方の村に安全な橋を寄付する活動も、これまでに5本の橋をかけることができました。今年度ご着任されました渡邊総領事と共に、橋の完成を祝うためカンボジア国境近くの村まで訪問し、地元の皆様や子ども達の歓待を得ましたことは良い思い出です。

日本人学校ではコロナ禍により教育活動にも影響が及ぶ中、当初は課題プリントの配布や、家庭訪問の他、授業方式や児童・生徒の送迎に ICT（情報通信技術）を積極的に活用頂く等して、生徒の皆様の健康と学習機会の確保のために先生方にも大変なご尽力を頂きました。

新型コロナウイルスという未曾有の状況が続く中、こうして商工会議所活動が継続できた事は会員企業や役員、理事の皆様が普段から活動目的を共有頂き、主体的な参加により各事業を作り上げてくださっている JCCH の総合力が発揮されたからであると強く感じています。特に役員、理事の皆様の参加意識の高さなくしては、ここまでの活動を行うことはできなかったと思います。

●会員企業へ正確な情報を伝えるために

新型コロナウイルスが発生してから、ブログや SNS など多くの情報が発信されています。しかし特に初期の頃は誤った情報、出所不明の情報も少なくありませんでした。そういう状況を鑑み、JCCH では「正確な情報を伝えること」に留意しながら情報発信を行ってまいりました。2020年5月4日には、JCCH のウェブサイト上に Covid-19 情報を集約した専用ページを開設し、さらに適宜メールによる会員への情報提供も行いました。これらの活動を中心となって担ってくださった事務局の皆さんには、改めてお礼を申し上げたいと思います。

●会頭2年目は継続的な信頼関係を基盤として難局に対応

さて私は、第23代の門脇会頭に続いて、2期連続で会頭を務めさせて頂きました。新型コロナウイルスが発生したのは任期1年目の終盤です。この難局に立ち向かうに際し、各省市人民委員会や在ホーチミン日本国総領事館との間で、継続した信頼関係を基礎とすることで、機動的な対応と成果に繋げることが少しでもできたのではないかと感じております。

任期の中で、ホーチミン市人民委員会はもちろん、周辺省の人民委員会の方々とも距離感が縮まり、「今度一緒にお酒でも飲みに行きましょう」と言い合える間柄になりました。会頭の仕事の一つは「JCCH の顔」になることだと思います。ベトナム当局の方々に JCCH への良い印象を持ってもらうことは、JCCH の活動にもプラスになると信じます。

ただ、人民委員会の皆様への手土産にするために、新型コロナウイルスの影響が始まる前に日本から大量に買い込んで来た美味しい日本酒の地酒を、社会隔離期間中、自宅で過ごす中ですべて自分で飲み干してしまい、ベトナムの皆様にも味わってもらえなかったのが唯一の心残りです。

●「困った時の真の友」としての JCCH

最後になりますが、いつも JCCH の活動に手を差し伸べ、暖かく支えてくださっている在ホーチミン日本国総領事館、JETRO の皆様へ、お礼を申し上げます。執行役員、部会理事および委員の方々をはじめとする会員企業の皆様、そして上田事務局長以下、事務局スタッフの皆様には、常に感謝の気持ちを持ち続けた2年間で、2期目はまさに JCCH の総合力に助けて頂いた1年であったと心より有難く思っております。

ご恩返しの心算で就任させて頂いた会頭職ですが、結局、また皆様にも助けて頂きお返ししきれないご恩が増えるばかりです。新型コロナウイルスによる混乱が収まるまでには、まだしばらくの時間が必要かと思われませんが、これからも JCCH が会員企業の皆様にとって「困った時の真の友」であり続けることを願っています。



在ホーチミン日本国総領事
渡邊 信裕

新型コロナウイルスによる脅威の中、 日本への大きな信頼感、親近感を嬉しく思う

2020年は、新型コロナウイルス感染症の脅威が世界中で拡大し、皆様の仕事面や生活面でこれまで経験したことのない大きな変化を迫られた一年であったと思います。

私自身は、ベトナムが外国との往来を制限していた6月に当地に着任し、半年以上が経ちました。この間JCCH関係者を始めとする日本企業関係者の皆様とお会いし、様々な活動を実施して参りましたが、困難な状況の中、皆様には多くの形でご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

ここベトナムでは幾度かの市中感染が発生したにもかかわらず、中央政府及び地方省市の迅速且つ厳格な措置と、ベトナム国民の助け合いの精神が相まって状況が安定しており、東南アジアでは唯一プラス成長を達成しています。このように勢いのあるベトナムとの関係の更なる発展のため、昨年10月には、菅義偉内閣総理大臣が就任後初の外遊先としてベトナムを訪問し、幅広い分野における協力が確認されました。

私は、着任以来、ホーチミン市を始めとする南部ベトナムにおいてお会いしたベトナム関係者より一様に日本に寄せる大きな信頼感、日本人への強い親近感を感じ、非常に嬉しく思いました。これは両国の政治レベルを含む各層で築かれている信頼関係の表れ、就中、皆様お一人お一人の日々の活動を通じて築かれた個人的信頼関係を反映した良好な対日感情に依るものと考えます。私自身、引き続き南部ベトナムを含む両国間の信頼と良好な関係を維持・発展させるべく、経済、文化、自治体、青少年等幅広い交流の促進に一層努めて参りますので、本年もよろしく願いいたします。(2021年1月26日執筆)



JETROホーチミン事務所 所長
比良井 慎司

商工会議所組織のありがたみと、 ベトナムの強みが記憶に残る 2020 年

2020 年は新型コロナウイルス (Covid-19) の世界的流行の年として記憶に残ることは間違いありません。そのうえで、記録しておきたいことは3点です。

第一に、商工会議所に加盟することのありがたみが強く認識された1年でした。各国政府が渡航を規制する中、会員企業各社のお一人お一人の渡航が滞りなく行われるよう、ハノイ、ダナン、ホーチミンの3会頭が中心となって、休日を返上し奉仕の精神で、目配りをしていました。非会員企業の渡航は、JETROが商工会議所とのパイプ役となりましたが、拠点設立後、直ちに商工会議所に加盟した例が多く見られました。

第二に、コロナ危機を経て、ベトナムが日系企業から益々熱い視線を受けた1年であった、という点です。サプライチェーン多元化を目的とした日本政府の設備導入補助事業では、ASEAN等の地域において60件が採択されました。国別ではベトナム関連が30件とトップです。日本企業がベトナム政府による感染対策を評価し、ベトナム経済が着実に発展すると期待していることの現れでしょう。

第三に、ベトナム経済発展の底力は地方省が投資誘致を競い合うところにあります。各地方省の幹部の皆様も「日本からの投資を歓迎する」とJCCH会頭に積極的にアピールしています。ホーチミンを拠点に周辺国をご覧になっている方におかれては、渡航ができない不自由をチャンスに変え、会員企業とともにベトナム国内を回ってみてはいかがでしょうか。

2020 年を総括する3点は、2021 年に飛躍するためのポイントでもあります。JETRO としてはJCCHと共に、在ベトナム日本企業の発展を支えていきたいと考えています。



コロナ禍の中における JCCHの取り組み

2019年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、全世界で1億人以上が感染し、300万人近い死者が出て、なお感染が広がっています。ベトナムは感染抑止に成功した数少ない国の1つですが、我々の事業や生活には多大な影響が出ました。そんな中、JCCHでは会員企業が協力し、また関係諸機関のご助力を頂きながら、この未曾有の事態に立ち向かいました。その経過を振り返ってみましょう。

JCCHでは一年を通して、以下の取り組みを行ってきました。

(1) 情報収集と会員企業との共有

当局からの通達（集会の禁止、交通機関の運行停止、飲食店等の営業停止など）の情報を迅速につかみ、会員企業に速やかに日本語で通知しました。事業活動、および生活する上で会員企業に広く影響を与えるような情報は、在ベトナム日本国大使館、在ホーチミン日本国総領事館等と連携して、事実確認の上で情報発信を行いました。また、ホームページに新型コロナウイルス関連情報の特設ページを設置しました。

(2) セミナー等の開催方法を切り替えて活動を継続

当局方針により、人が集まる集会形式でのイベント、会合の開催が困難になったため、「オンライン理事会」「オンラインセミナー」「オンラインプレゼン大会」等、従来、会場にて開催してきたものを柔軟にオンラインに切り替えて行いました。

(3) ベトナムへの入国支援、情報提供等

企業単位での個別申請による入国が難しい期間中、希望する日本人ビジネス関係者、また一部の家族の方の入国支援を、在ベトナム日本国大使館、在ホーチミン日本国総領事館、JETRO、ベトナム日本商工会議所（JCCI）、ダナン日本商工会議所（JCCID）と連携し実施しました。ベトナムへの入国制限に関連する当局からの情報も、適宜発信しています。

(4) 労働許可証新規発行・更新停止・遅延への対応

ホーチミン市および周辺省において、日本人を含む外国人全体について労働許可証更新、新規発行に影響が発生し、各当局への確認を行いながら定期的に情報発信を行いました。

DANGER OF INFECTION

COVID-19

JCCHにおける 新型コロナウイルス 対応

◆2月13日～18日

JETROホーチミン事務所と合同でコロナの影響に関する第1回目のアンケートを実施した。JCCH 会員企業1027社中、426社（製造業209社、非製造業217社）が回答し、有効回答率41.4%。結果はJCCH ウェブサイト上で公開した。

◆3月25日～30日

JETRO ホーチミン事務所と共同で第2回のアンケートを実施。ベトナム日本商工会議所（JCCH）、ダナン日本商工会議所（JCCID）と共同で行い、631社から回答（有効回答率32.0%）。結果はJCCH ウェブサイト上で公開した。

◆4月24日

オンライン方式で総会を開催。

◆5月2日

ベトナム日本商工会議所、ダナン日本商工会議所と3会議所合同で、緊急執行役員会を実施。

◆5月4日

JCCH のウェブサイト上にコロナ関連情報の特設ページを開設。これに加えて、適宜、会員向けのメールで情報を発信。

◆5月9日

日本からベトナムへの特例入国便フライト第1弾が運航された。在越日本商工会議所会員企業の駐在員を含む68名が搭乗。

◆6月18日～24日

第3回のアンケートを実施。今回はベトナム日本商工会議所（JCCH）、ダナン日本商工会議所（JCCID）、JETRO ハノイ・ホーチミン両事務所が共同で実施し、第2回と同数の企業から回答を得た。

◆6月25日～27日

3日間で特例入国便第2弾を実施。日本人ビジネス関係者約440名が入国。

2019年
12月

2020年
1月

2020年
2月

2020年
3月

2020年
4月

2020年
5月

2020年
6月

ベトナム国内の コロナ情勢 推移

12月

WHO の公式発表によると、12月8日、中国湖北省武漢で確認されたのが、新型コロナウイルスの最初の患者とされる。

1月

中旬、ベトナム保健省は、原因不明のウイルス性肺炎対策としてマスク着用などを呼びかけ。23日に国内で初の感染者（中国人男性）を確認。30日にはベトナム人の感染者を初めて確認。31日、フック首相が中国との往来を制限するよう指示。

2月

1日、フック首相が「流行宣言」を発令。この時点での感染者数は6人。テト休暇（～2月2日）終了後も各種教育機関は休校。保健省がコロナ対策アプリをリリースし、特設ウェブサイトを開設。2月末時点の感染者は16人。

3月

6日、約3週間ぶりに市中での感染が確認され、感染者が急増。22日、すべての外国人の入国を停止。31日に首相指示第16号を発出。内容は4月1日から15日間の自宅待機、公共交通機関の運行停止など。

4月

感染拡大の沈静化を受けて、23日から社会隔離措置を緩和。経済活動が徐々に再開。16日、ベトナム政府から日本に5万枚の医療用マスクを寄贈。その後、5月8日には14万枚のマスクを寄贈するなど、ベトナムから日本へのマスクの寄贈が相次いだ。

5月

4日には中学校以上の教育機関が授業を再開。その後、小学校が5月11日、幼稚園・保育園が5月18日に授業を再開した。

6月

19日、日越両国政府は、「自国の新型コロナウイルス感染症防止対策に関する規制の十分な厳守を確保した上で、今後、両国間の往来に対する制限を部分的・段階的に緩和する」という方針で合意。

◆7月18日

ロンアン省「日越橋5」の開通式開催。
社会貢献委員会の橋架け替えプロジェクトで2020年2月に完成した橋の開通式がコロナ禍による延期を重ねて、ようやく開催できた。

◆8月21日~8月23日

特列入国便第3弾を実施。日本人ビジネス関係者等、約600名が入国。

◆9月6日

延期されていたホーチミン日本人学校の入学式を実施。

◆10月15日

JCCH 会員交流パーティーを開催。新型コロナウイルスの市中感染の収まりを受け、約400人の会員の参加を得て開催。

◆11月8日

JCCH 懇親ゴルフ大会2020を開催。マラソン大会、新年会が中止となる中、貴重な交流イベントとなった。

◆12月17日

ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル本番会議は残念ながら中止となった。

2020年
7月

2020年
8月

2020年
9月

2020年
10月

2020年
11月

2020年
12月

2021年
1月

2021年
2月

2021年
3月

7月

24日、中部ダナン市在住のベトナム人男性が新型コロナウイルスに感染していることを確認。100日ぶりの市中感染発生となる。ハノイ、ホーチミンにも広がる。31日にはコロナによる初の死者。

8月

7月下旬にダナン市で始まった新型コロナウイルスの流行第2波が、夏の観光シーズンに大きな打撃。活況を取り戻しつつあった国内旅行市場が一気に暗転。

9月

ベトナム保健省がコロナ対策のスローガン「5K」を正式発表。5日、第2波が沈静化しつつあるのを受けて、各地で不要不急のサービスの営業再開など制限緩和が始まる。中旬から下旬にかけて国内旅行に持ち直しの兆し。

10月

上旬以降、中部ベトナムに台風上陸が相次ぎ甚大な被害。18日から20日にかけて、菅総理がハノイを訪問。首脳会談で「ビジネス・トラック」を開始することに合意。両国間の人の往来が徐々に再開されることになった。

11月

1日からベトナムとの間で「ビジネス・トラック」を開始。11月の訪日者数は10月比で2.4倍。30日、ホーチミン市在住の英語教師の男性が、新型コロナウイルスに感染していたことを確認。9月2日以来、89日ぶりとなる市中感染が発生。

12月

ホーチミン市での市中感染が確認されたことを受けて、市の保健局は2日に関係各所を封鎖。しかしそれ以降、ホーチミン市中で新たな感染は発生せず、7日からは一時休校だった学校が再開された。16日には封鎖も解除。

1月

1月28日、ベトナム北部で82人の感染者を確認。市中感染は約2カ月ぶり。これ以降北部を中心に感染が急増し、一部では社会封鎖が実施された。25日から2月1日まで共産党大会。

2月

1月17日に入国し、2月13日にハノイで死亡した邦人1名が新型コロナウイルスに感染していたことが発表された。

3月

ホーチミン市では1日から、ハノイでは2日から学校が再開。2月9日から営業を停止していた不要不急のサービスについても1日からの再開を認めた。8日、ハノイ、ホーチミン市などで、ワクチン接種を開始した。

3月23日時点での数字は、累計感染者数：2575名、累計死者数：35名。
ホーチミン市では2月12日以来、市中感染者ゼロが続いている(3月23日現在)。

2020年度第27回総会

2020年4月24日

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、ベトナム国内では、不要不急の集会禁止、タクシー等の公共交通機関の運航停止、飲食店等への営業停止命令等、厳しい社会隔離体制が敷かれる中、本年度の総会は1998年に本組織が認可されてから初となるオンライン方式によって開催されました。

2019年度の会頭、岡田 英之氏により、同年度の活動報告が行われ、また、引き続き同氏による二期連続での会頭就任が承認されました。

本総会では役員交代が行われると共に、岡田会頭よりベトナムのことわざ「Trong hoàn nạn mới biết ai là người bạn tốt (一困った時の友こそ真の友-)」を引用して、今年度における活動方針の発表が行われました。



初のオンライン総会に臨む会頭の岡田 英之氏



■JCCHの歩み

- 1993年 ホーチミン市で活動する日本企業による「ホーチミン日本友好倶楽部」が発足。
- 1994年 組織の拡大にともない名称を「ホーチミン日本商工会」に変更。英文表記は「Japanese Commerce and Industry of Ho Chi Minh City」(通称: JCIA)。会員社数は69社。初代会長は広岡正夫氏(三井物産)。
- 1997年 ホーチミン日本商工会立ホーチミン日本人学校を設立。この年からチャリティバザーを毎年開催(～2014年度)。売り上げはベトナムの医療機関に寄付された。
- 1998年 5月に英文名称を「The Japanese Business Association of Ho Chi Minh City」(通称: JBAH)に変更。日本語名称は変更せず。
9月28日に、ホーチミン市人民委員会から正式団体として認可を受ける。事業および生活環境の改善を目的とするホーチミン市人民委員会との「ラウンドテーブル」を開始。
- 2002年 この年から「ラウンドテーブル」を毎年開催。
- 2009年 大阪商工会議所との提携を開始。
- 2011年 会員社数が500社を突破。
- 2013年 サンワタワー14階の中で、事務局を移転・拡大する。
- 2015年 社会福祉施設への援助・訪問を開始。
- 2016年 マラソン大会を初開催。1,000人以上が参加しJCCHのスポーツ関連イベントとしては最大規模に。
- 2018年 4月に名称を「ホーチミン日本商工会議所」に変更。英文名称はThe Japanese Chamber of Commerce and Industry in Ho Chi Minh City(通称: JCCH)。
会員社数が1,000社を突破。
- 2020年 新型コロナウイルス感染拡大のため、さまざまな行事をオンライン方式に切り替えて開催。

*社名、肩書は当時のもの。

〈2020年度活動方針〉
「自分たち一社一社こそがJCCHの主力」
この精神で協力しあい、
難局にも負けずさらなる発展を。

■JCCH歴代会頭一覧

代目	年度	氏名	所属
初	1994	広岡 正夫	三井物産
2	1995	伊東 淳一	日商岩井
	1996	伊東 淳一	日商岩井
	1997	伊東 淳一	日商岩井
3	1998	大北 裕之	住友商事
4	1999	岩間 憲道	三井物産
5	2000	山崎 末次	三菱商事
6	2001	浅田 弘一郎	住友商事
7	2002	今津 康雄	三菱東京UFJ銀行
8	2003	会川 精司	日商岩井
9	2004	松林 勝	三菱商事
10	2005	脇 郁晴	双日
11	2006	石田 泰	丸紅
12	2007	中川 卓男	三菱東京UFJ銀行
13		深山 隆	味の素
14	2008	大西 範和	住友商事
15	2009	小須田 森仁	双日
16	2010	柏木 利夫	三菱商事
17	2011	那須 泰孝	みずほコーポレート銀行
18	2012	森 光廣	ピナキョウエイステール
19	2013	山口 貴美雄	双日
20	2014	百石 洋人	三菱商事
21	2015	坂上 勉	丸紅
22	2016	前野 浩二	JFE スチール
23	2017	門脇 恵一	三菱商事
	2018	門脇 恵一	三菱商事
24	2019	岡田 英之	TMI 総合法律事務所
	2020	岡田 英之	TMI 総合法律事務所

*社名、肩書は当時のもの。

◆事業・生活環境の改善

ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル

ラウンドテーブルは事業環境および生活環境の改善を目的としてホーチミン市人民委員会と毎年開催している事業です。約半年ほどの期間をかけて行われるこのプロジェクトではホーチミン市人民委員会に対して改善要望を行う場となっております。

2020年度は 8月に会員企業に対してアンケート調査を行ったところ、各分野における意見・要望が103項目(法務労務:24項目、税務通関:35項目、生活環境 44項目) 集まりました。

これらを担当委員会で協議して 13項目に絞り込み、昨年度までの要望のうち追跡調査を実施した9項目の結果をとりまとめ、要望書を提出。これに対してJCCHとホーチミン市人民委員会の担当者が、一つ

一つに関して具体的な対策を検討していく実務者レベルでの話し合いを重ねました。

今年度は12月17日に予定されていた本番会議が、ホーチミン市人民委員会側からの要請により、大人数が集まる従来型での開催は見送りとなりました。しかし未解決・議論継続となっていたいくつかの案件については個別に担当部局との交渉、調整を続けました。



●ラウンドテーブルに向けたキックオフミーティングを開催 (2020年7月22日)

ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)にて、今年度のラウンドテーブルに向けたキックオフミーティングを開催しました。

当日は、JCCHから矢口事業環境委員長、中川法務委員長、吉田労務委員長、小野瀬税務・通関委員長、上田事務局長が出席し、ホーチミン市側からはVAN副センター長ら関係者が参加しました。

本キックオフミーティングは世界的なコロナ感染拡大の影響を受けて例年よりも若干遅い実施となりましたが、今年度のラウンドテーブルについて調整・意見交換をし、本番開催に向けた第一歩となる有意義な会合となりました。



◆事業・生活環境の改善

ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル



●プレラウンドテーブルを開催 (2020年11月10日・17日)

実務者レベルの会合であるプレラウンドテーブルが開催され、ホーチミン市貿易投資促進センター (ITPC) にて生活環境、法務・労務、税務、通関の4チームに分かれて議論を行い、JCCHからは矢口副会頭兼事業環境委員長、中川法務委員長、吉田労務委員長、小野瀬税務・通関委員長に加え、各委員会の主要委員らが出席しました。

今回、新規の要望は13項目を提出し、白タクやメーター改竄等によるトラブル、共用道路乗り入れ規制について、また、過去に要望した事項に関するフィードバックとして、労働許可証における「企業内異動」の解釈等、9件の要望について本番のラウンドテーブルの開催に向けて議論を行いました。



法務・労務チーム



矢口副会頭兼事業環境委員長

●【中止】ラウンドテーブル本会議

ホーチミン市人民委員会の要請に伴い、集合方式での開催は中止となりました。

●ラウンドテーブルクロージングミーティングを開催 (2020年12月29日)

岡田会頭、矢口事業環境委員長、小野瀬税務・通関委員長、中川法務委員長がホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)のTINセンター長、VAN副センター長等と面談を行いました。

岡田会頭は、今年度のラウンドテーブル開催までのご尽力への御礼と、次年度、20回目を迎えるということもあり、日本とベトナムの強い証となるような記念に残るラウンドテーブルを実現していきたいと述べました。

▶2020年度ラウンドテーブルに向けた活動経過

7月22日	ITPCとのキックオフミーティングを開催
8月6日～15日	会員企業向けに意見・要望の登録案内、各分野ごとに多くの意見・要望が集まりました。 ・労務・法務新規要望：24項目（2019年度：37項目） ・税務・通関新規要望：35項目（2019年度：22項目） ・生活環境新規要望：44項目（2019年度：61項目）
11月10日・17日	ITPCとのプレラウンドテーブルを開催（11月10日、17日の2日間で4セッション）
12月17日	【中止】ラウンドテーブル本会議
12月29日	ラウンドテーブルクロージングミーティング

◆事業・生活環境の改善

ホーチミン市および周辺省との連携

●ドンナイ省税関局主催の日系企業との対話集会を開催(2020年9月22日)

JCCH から岡田会頭、比良井副会頭、小野瀬税務・通関委員長、有賀企業交流委員長、吉田ドンナイ部会長をはじめ、ドンナイ部会理事および会員企業を中心に、約90社の代表者や実務担当者など約180名が出席しました。

対話集会では、ドンナイ省税関局幹部から、「輸入品に対する原産地証明書について、原産地申告についての留意事項、免税品、倉庫並びに税関手続の実施等」に関するプレゼンテーションが行われました。



●ビンズン省社会経済功績展示会にブース出展(2020年10月13日~16日)

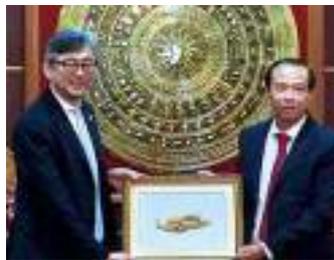
ビンズン省ビンズン新都市にて開催された「ビンズン省社会経済功績展示会」にブースを出展しました。

本展示会は、第11回ビンズン省党委員会大会および第13回全国党員代表大会と同時開催され、官民共に約90のブースが出展する大規模イベントとなりました。

JCCHのブースでは活動の紹介、各企業の製品紹介の他、浴衣着付け体験やお菓子などのギブアウェイを用意し、大変な好評を頂きました。

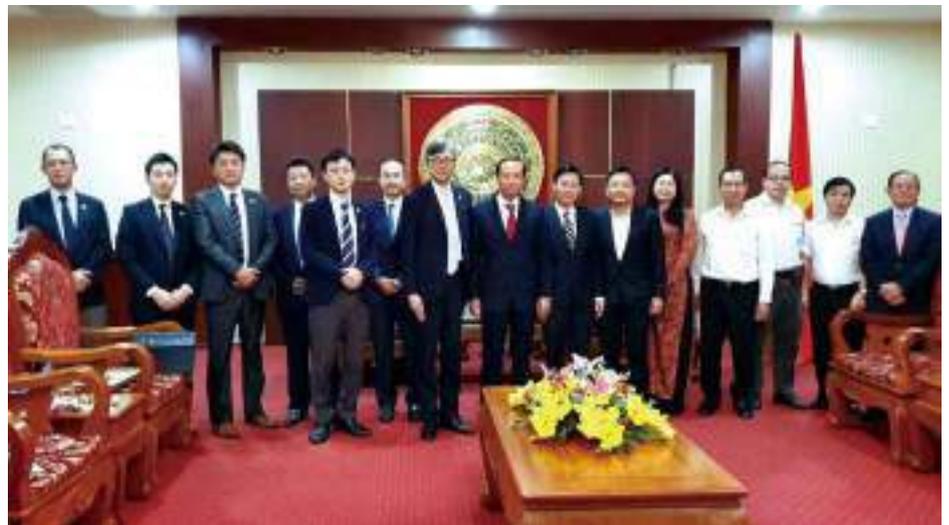


●バリアンタウ省人民委員会THO委員長、KHANH副委員長を表敬訪問(2020年11月5日)



岡田会頭、比良井副会頭、小野瀬税務・通関委員長、有賀企業交流委員長、岩佐バリアンタウ部会長らが出席しました。

THO委員長は同省における投資状況について、2020年11月時点において同省におけるFDIプロジェクトは40件あり、投資総額は32億USドルに達している。同省の社会・経済発展に大きな役割を果たしていると述べました。



◆事業・生活環境の改善

ホーチミン市および周辺省との連携

●ドンナイ省における日系企業とベトナム企業との ビジネスマッチング会を開催(企業交流委員会) (2020年12月3日)

ドンナイ省人民委員会、ホーチミン日本商工会議所、近畿経済産業局、(一財)海外産業人材育成協会(AOTS)の共催で開催しました。

今年度で4回目の開催となる本ビジネスマッチングは、日系企業における現地調達率の向上や、現地企業との商談機会の創出を目的として開催されました。

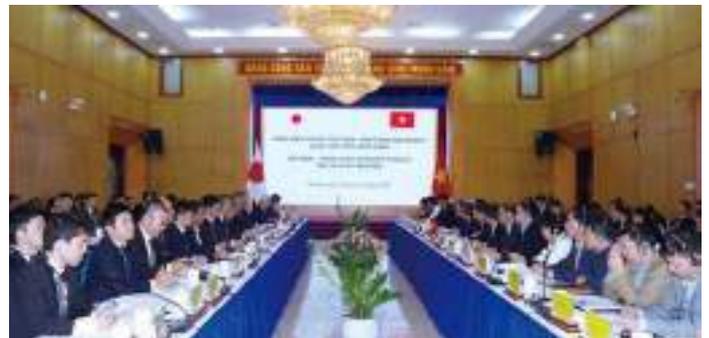
当日は日系企業とのビジネス拡大に意欲的なベトナム企業27社、JCCH会員企業6社が出展し、JCCH会員企業をはじめとした日系企業50社近くが参加しました。



●日越共同イニシアティブ 第8フェーズプレキックオフ会合への参加 (2020年12月9日)

計画投資省(ハノイ市)にて、日越共同イニシアティブ第8フェーズのプレキックオフ会合が開催され、JCCHから中川法務委員長、上田事務局長が出席しました。

日越共同イニシアティブは、ベトナムの投資環境を改善し外国投資を拡大することを通じて、ベトナムの産業競争力を高めることを目的として、2003年4月の日越両国首脳の合意によって設置された枠組みです。



◆日本人社会への協力 日本人学校の運営

当地唯一の日本人学校であるホーチミン日本人学校は1997年にホーチミン日本商工会(当時)によって設立されました。現在も引き続き、子供の教育になくてはならない日本人学校の運営もJCCHが同校と連携しながら行っています。小学部と中学部合わせて約500名の児童・生徒が通学しており、その数はホーチミン市での生活レベルの向上に伴い、年々増加の一途を辿っています。

●日本人学校入学式(2020年9月6日)

今年度はコロナ禍による社会隔離政策等の影響で、毎年4月に行っていた入学式を9月に延期して開催しました。

小学部80名、中学部47名の新入生を迎え、入学式時点での全校生徒数は517名となりました。

JCCHから岡田会頭が出席し、祝辞を述べました。



●日本人学校運動会(2020年10月4日)

コロナ禍の影響で開催が心配されましたが、当地における市中感染の収まりと共に無事、今年度の開催が実現しました。

各競技では元気あふれる声援が上がり、新型コロナウイルスの影響を感じさせず、例年同様の盛り上がりを見せました。



●日本人学校中学部卒業式 (2020年11月29日)

今年はコロナ禍と高校受験のため、年内に帰国する生徒が多いことから、中学部の卒業式をこの時期に繰り上げ開催しました。今年は23名の生徒が卒業しました。小学部を含む卒業式は2021年3月11日に開催しました。



◆日本人社会への協力 在住日本人の親睦のため

ベトナムでは在住日本人のための日本人会をオフィシャルな形で設立することは認められていないため、JCCH がそれに代わる役割を担っています。
JCCH では在住日本人の親睦を深めるため様々なイベントを開催しています。また日本人同士だけでなく、ベトナム人社員との交流の場も提供しています。

●JCCH会員交流パーティー(2020年10月15日)

レバリーサイゴンにてJCCH会員交流パーティーを開催致しました。
本イベントは例年、定期総会(4月下旬)後に行っていた懇親会の代替イベントとなり、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により4月、8月と2度の延期を経て、企業交流委員会の主催にてようやく開催が実現しました。

当日は会員企業から約400名が参加し、ご来賓として、在ホーチミン日本国総領事館 渡邊総領事、ベトナム商工会議所 Thanh 副会頭兼ホーチミン支店長、ベトナム日本商工会議所 須藤会頭 等がご出席くださいました。



◆日本人社会への協力 在住日本人の親睦のため

●JCCH懇親ゴルフ大会 2020(2020年11月8日)

スポーツ・文化委員会の主催で毎年恒例の「JCCH 懇親ゴルフ大会2020(全越オープン2020)」をタンソンニャットゴルフ場にて開催しました。

プレー終了後に行われた表彰式では、順位賞の発表やラッキードロウもあり、大変な盛り上がりの中、盛会に終了しました。

今年は参加者全員向けの参加賞には20社以上の企業様に、また、順位賞やラッキードロウ等では60社を超える企業様に協賛品のご提供を頂きました。



今年はJCCH オリジナルのタオルを参加者全員に配布しました。



プレー開始前に参加者全員で記念撮影



(左から)
蔭山副会頭、渡邊総領事、岡田会頭、小手川スポーツ・文化委員長



プレーヤーたちが懇親を深める場として大いに盛り上がりました。

ホールインワン賞は以下4社より賞品をご提供頂きました。

ホールインワン賞スポンサー企業様 (以下順不同)

- いすゞベトナム様
- HOTEL du PARC HANOI 様
- Hotel Nikko Hai Phong 様
- Tan Son Nhat Golf Course 様



プレー後の懇親会では成績優秀者の表彰が行われました。



スポーツ・文化委員会のメンバーや、ボランティアスタッフの皆様。朝4時から準備を開始し、大変早い集合時間であったにもかかわらず、大会運営を支えてくださいました。

AD コース	
1位 藤井 義士	OKANETSU VIETNAM オカネツ ベトナム
2位 郷 康晴	FIRST ファースト
3位 北澤 謙一	ALTECH ASIA PACIFIC VIETNAM アルテック・アジア・パシフィック・ベトナム
BG	
藤井 義士	OKANETSU VIETNAM オカネツ ベトナム
BG2	
秋澤 隆之	TOKIN ELECTRONICS (VIETNAM) トーキンエレクトロニクス (ベトナム)
BG3	
大江 浩喜	ECL SHIPPING (VIETNAM) イーシーエル シッピング ベトナム

BC コース	
1位 中込 吉恒	TORAY INTERNATIONAL VIETNAM 東レインターナショナル
2位 平山 明義	CERUBO セルボ
3位 岩佐 博之	VINA KYOEI STEEL ビナキョウエイスチール
BG	
平山 明義	CERUBO セルボ
BG2	
岩佐 博之	VINA KYOEI STEEL ビナキョウエイスチール
BG2	
西山 浩二	YASUDA VIETNAM ヤスタベトナム

◆ベトナム社会への貢献と交流促進 ベトナム社会との共存共栄を目指して

わたしたちが事業を行い、そして生活しているベトナム社会への感謝の気持ちを込めて、社会貢献活動を行っていくこともJCCHの大切な活動の一つです。

「交通が不便な村に橋を作って寄贈するプロジェクト」によって架け替えた橋は5本目となりました。また今年度初の事業として、社会福祉団体の運営する生活困窮者向けの食堂への食材費の支援、図書の寄贈も行っています。このような活動を通して皆様からお預かりした寄付金をベトナム社会への貢献のために活用しました。



開通式ではテープカットを行いました。



完成した橋は「日越橋5」と命名されました。



地域の子も達から温かい歓迎を受けました。



完成式の後、子ども達への教育費の支援として奨学金や、自転車等を贈呈しました。

●ロンアン省での橋の寄贈プロジェクト開通式を開催 (2020年7月18日)

ロンアン省ドックホア県において「橋の寄贈プロジェクト」により建設された橋の完成式が開催されました。

完成式には、在ホーチミン日本国総領事館より渡邊総領事、およびJCCHからは岡田会頭、八木社会貢献委員長らが出席しました。当局側はロンアン省赤十字会長Ho Van Cung氏らが出席しました。

同地域には約800世帯が生活し、周囲に3つの学校があり、日々約600名の学生たちが老朽化が進んだ橋を使って通学しており、危険な状態となっていました。この「日越橋5」の完成によって、住民の方からは、「この地域の交通が大変便利になった。」など、感謝の声を多数頂きました。

◆ベトナム社会への貢献と交流促進

ベトナム社会との共存共栄を目指して

●ドンナイ省THIEN BINH社会福祉センターを再訪 (2020年10月17日)

ドンナイ省にあるTHIEN BINH 社会福祉センターを再訪しました。

今回の訪問では、同センターのエリア内に新しく建設された子ども達用の寮に設置するテレビの贈呈、また以前寄贈した浄水器の稼働状況、一昨年度実施したサークルペイントの状況を視察しました。

同センターでは同じ敷地内に老人施設も併設されており、0歳～大学生までの約200名が同施設内で生活しています。



●「2,000ドン社会食堂」へ支援を実施 (2020年12月19日)

本事業は初の取り組みとなり、ボンセンチャリティーセンターが運営する「2,000ドン社会食堂」に、4日程で計1340食分の食材費の支援を行いました。

八木社会貢献委員長と委員13名が同食堂4号店を直接訪れ運営支援を行いました。

当日のメニューは「Bun Cha Gio」で、センターのボランティアスタッフ含めて朝6時から準備し、午前10時の開店前には子どもからお年寄りまで大勢の方が店の前に並び、お昼前、11時半過ぎには用意していた365食を全食売しました。店頭で作業する委員に向けて「美味しかったよ。ありがとう!」といった声もかけていただきました。

また、本事業は同日以外にも、別日程でホーチミン市内9号店への支援も実施しました。



◆ベトナム社会への貢献と交流促進 ベトナム社会との共存共栄を目指して



●クチ県An Nhon Tay中学校・高校への 図書寄贈プロジェクト (2021年1月16日)

八木社会貢献委員長および委員約10名で、クチ県にある「An Nhon Tay 中学校・高校」を訪問しました。両校では図書室が設置されているものの、生徒向けの書籍が少なく、支援を求める声を頂いていました。

そこで、JCCHは生徒たちの学習環境向上を支援するため、各種書籍、および日本文化に興味を持っていただくために、日本の漫画を合計約500冊、図書館利用のPC2台を寄贈しました。



●ホーチミン市9区Thien Than (エンジェル)児童養護施設への 支援プロジェクト(2021年1月30日)

市中感染の発生状況をふまえて、最少人数での訪問を実施し、事前に施設側より要望のあった、洗濯機、乾燥機、浄水器（約1,200USD相当）を寄贈しました。

また、ヤクルトベトナム様よりヤクルト、またインターフード様よりiMUSE他飲料を120名分寄贈いただき、訪問時に子ども達へプレゼントさせていただきました。



◆学び

生活に役立つ学び

各分野の専門家が講師として登壇する JCCH 会員対象の無料セミナーを定期的に開催していますが、毎回定員を超える申し込みがある程、ご好評を頂いております。

今年度は新型コロナウイルスの影響から集会規制がかかったこともあり、積極的にオンライン方式を活用し、税制、労働法に関するものから、快適で安全な暮らしのための生活情報を提供するものまで、多岐にわたるセミナーを開催しました。セミナー以外にも様々な学びの機会が会員に提供されるなど、当地で事業や生活をされている会員企業向けに役に立つ情報を提供しています。

●第一回生活セミナーを開催
(2020年10月29日)

今回初となる、会場とオンライン同時開催にてホテルニッコサイゴン、およびWeb方式で、第一回生活セミナーが開催され、会場、オンラインあわせて約130名の方が参加しました。

第一部は「ホーチミンでの健康対策」をロータスクリニックの白井 拓史先生に、第二部は「ベトナムの緊急医療事情」についてWellBe VIETNAMの榎尾 拓真氏にご講演頂きました。

参加者から「実例に基づく講演は大変役に立った」などの感想を頂きました。



参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・具体的な事例や緊急時の対応方法もレクチャー頂いたので大変参考になりました。
- ・定期健診後のフォローの重要性、ベトナム国立病院でのデポジットの取り扱いを具体的に説明頂いたので理解出来た。
- ・自社の安全管理体制について見直す機会を得られた。
- ・緊急時の各種費用の相場が大変参考になった。

●第二回生活セミナーを開催
(2021年2月2日)

今年度第二回目となる生活セミナーはWeb開催とし約130名の方が参加しました。

第一部は「ベトナム治安情勢、防犯対策について」を在ホーチミン日本国総領事館の高木 陽平氏に、第二部は「実録！ベトナム公安24時！」と題してEYベトナムの小野瀬 貴久氏にご講演頂きました。

参加者から「実例に基づく講演は大変役に立った」などの感想を頂きました。

参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・今後、ベトナムで生活していくうえで、今回の2つの講演内容は大変参考になりました。
- ・身近な危険を再認識することができました。
- ・初めてのベトナム赴任ということで、生活の上で気を付けるべきことなどが知れて良かったです。
- ・他の駐在者にも簡単に情報共有しました。是非、定期的に開催して頂きたいと思います。ありがとうございました。



●渉外・広報委員会発行メールマガジン「ベトナム生活・虎の巻」シリーズ

生活セミナーに参加出来なかった方向けに、その内容を「虎の巻メールマガジン」としてまとめ、それぞれセミナー開催後に発行しました。会員企業だけでなくそのご家族の方からもご好評を頂いております。

◆学び

事業に役立つ学び

●税務・通関委員会：「税務個別Web相談会」を実施（2020年5月1日）

在宅勤務が多くなった会員企業のお役に立てるよう、電話や各種のWeb会議システムを活用しリモートで実施しました。電話や各種のWeb会議システムを活用しリモートで実施しました。

●JBICの新型コロナ緊急支援制度に関する オンライン説明会を開催（2020年6月16日、24日）

ダナン日本商工会議所（JCCID）との共催で、国際協力銀行（JBIC）による『成長投資ファシリティ 新型コロナ危機対応緊急ウインドウ』に関するオンライン説明会を開催しました。

本枠組みは、コロナ禍後の日系企業の海外事業支援として、日本政府が2020年度で1兆円規模の補正予算を組み、新たに実施されたものです。

本説明会には、JCCH、JCCIDの会員企業以外からも参加者を募集し、ベトナム国内だけではなく日本からも計108名の参加登録がありました。

講師は国際協力銀行・ハノイ駐在員事務所 首席駐在員・安居院 徹氏が務め、製造業等の長期運転資金、設備投資、海外M&Aやインフラ事業資金等を幅広く対象とした本枠組みの概要や、融資プロセス等を説明した後、参加者からも様々な質問が寄せられました。



講師の国際協力銀行・ハノイ駐在員事務所 首席駐在員 安居院 徹氏

税制セミナー

●税務・通関委員会主催ベトナム税制セミナー

税務・通関委員会は毎年大好評の税制セミナーを今年度も開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み全てWEB開催とし、5つのテーマに分けて会員企業の関心の高い税制の基礎や、税務調査の最新動向について解説しました。5つのテーマに分けて、関心の高い税制の基礎や、税務調査の最新動向について解説しました。

◆第1回

- ・日時：9月29日（火）
- ・テーマ：移転価格税制編
- ・講師名：EY ベトナム 西川 貴陽 氏

◆第2回

- ・日時：10月27日（火）
- ・テーマ：個人所得稅制編
- ・講師名：GRANT THORNTON VIETNAM 唐牛 理任 氏

◆第3回

- ・日時：11月24日（火）
- ・テーマ：付加価値税・外国契約者税編
- ・講師名：AGS 鶴田 明久 氏

◆第4回

- ・日時：12月22日（火）
- ・テーマ：法人税制編
- ・講師名：ES CONSULTING VIETNAM 高田 真 氏

◆第5回

- ・日時：1月26日（火）
- ・テーマ：税務調査編
- ・講師名：KPMG 谷中 靖久 氏 及び 西井 康雄 氏



◆学び

事業に役立つ学び

●労働法(法改正編)セミナーを開催 (2020年12月11日)

JCCHは労働法に関するセミナーを毎年開催し、ご好評いただいています。今回は2021年1月施行の改正労働法をテーマに開催し、事前申し込みに約360名がエントリー下さいました。

「来年、施行予定の改正労働法について知りたい」、「各社における対応状況を知りたい」という声にお応えし、法務委員会、労務委員会の3名の弁護士委員と、3名の企業委員が登場し、事例を用いた解説や、各社対応事例、残業時間（時間外労働時間）の上限引き上げについてなど、最新情報を織り交ぜながらわかりやすく解説頂きました。

直近での労働法改正を控え企業への影響が大きいだけに、セミナー終了後も参加者から多くの質疑が寄せられました。



◆司会・進行：

中川 幹久 法務委員会委員長
(長島・大野・常松法律事務所)



◆講師：

大矢 和秀 弁護士 (写真上)
(西村あさひ法律事務所 ホーチミン事務所)
三木 康史 弁護士 (写真下)
(アンダーソン・毛利・友常法律事務所
ホーチミンオフィス)

◆企業委員：

吉田 盛 労務委員会委員長
(AGCケミカルズ・ベトナム)
児玉 圭太氏
(VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL
JOINT STOCK COMPANY)
関 一郎氏 (ピナエコボード)



●ベトナム労働法基礎セミナーを開催 (2021年3月26日)

本セミナーは「ベトナムの労働法について知りたい」「改めて労働法の概要を再確認したい」という声にお応えする形で、毎年同委員会の主催で開催し、ご好評いただいています。

昨年に続き今年も多くの方からご関心をお寄せいただき、今年からオンライン開催への切り替えがあった影響からか、事前申し込みに例年の数を多く上回る約300名もの方からのエントリーをいただきました。

当日は法務委員会、労務委員会の3名の弁護士委員と3名の企業委員が登場し、各社事例を用いた解説や、具体的な対応事例、改正労働法の施行に伴う労働許可証の取得問題についてなど、最新の情報を織り交ぜながらわかりやすく解説いただきました。

特に直近で改正された労働法の影響により、労働許可証の取得問題など大きな影響を受けている企業もあり、セミナー後の質疑応答タイムでは参加者から非常に多くの質疑が寄せられました。



◆協力と交流

内外でのネットワークを広げる

JCCHでは部会の枠を超えた会員同士が交流する機会の創出や、ベトナム国内・国外の諸団体との協力関係の構築にも取り組んでいます。それらのネットワークを会員の皆様のお役に立てています。なお、新型コロナウイルス対策として、毎回会場において通常よりスタッフを増員し、参加者による飲み物、食べ物の直接接触を出来る限り減らし、また、JCCH 行事開催方針に沿って、体調不良や発熱等の症状があった場合に、ご出席を遠慮いただく要請を行う等の対策を取りました。

●「JCCH理事と新入会員との交流会」を開催
(2020年7月16日、11月19日)

企業交流委員会はバレスホテルにて、「JCCH 理事と新入会員との交流会」を開催しました。各回では新入会員の皆様と理事合わせて70名以上の方が参加されました。

本交流会は昨年度より開催されているイベントで、新入会員の皆様に、理事およびその他の新入会員の皆様との懇親を深め、ご入会后、JCCH 活動へ積極的にご参加頂けるよう、企画されました。



●JETROホーチミン事務所と「工業団地出張セミナー」を開催(2020年7月10日、22日、23日)

企業交流委員会は、JETRO ホーチミン事務所と「工業団地出張セミナー」を定期的に共同開催しており、今年度は下記日程にてJETRO ホーチミン事務所による各種相談会、JCCHによる「JCCHの事業内容のご紹介」を行いました。

7月10日：(ビンズン省)ミーフック工業団地

7月22日：(ドンナイ省)ニョンチャックレンタル工場JSC

7月23日：(ビンズン省)VSIP 工業団地



◆協力と交流

内外でのネットワークを広げる



●新規赴任者向け交流会を開催 (2020年10月7日)

企業交流委員会は新規赴任者向け交流会をバレスホテルにて開催しました。

本交流会は、ベトナムに新たに赴任した方々の交流の場として2019年度から実施しているイベントで、好評につき二回目の開催となりました。

今回は2020年1月以降にベトナムに赴任した方を対象に開催し、100名以上の方にご参加いただきました。

当日は上田事務局長から「JCCHの事業紹介」を行った他、ALSOKベトナムセキュリティサービスの奥村様より、「ベトナム治安情報、実例と対策」の講演が行われました。

開催後実施した参加者アンケートには「大変良い機会であった」「多くの方と知り合うことが出来た」等の感想が寄せられました。



●第8回ふらっとJCCHを開催(2020年10月28日)

企業交流委員会の主催にてホテルニューワールドサイゴンにて第8回ふらっとJCCHを開催しました。

本イベントは「ふらっと、気軽に立ち寄れる交流の場」をテーマとして、2017年度より開催しており、部会、業種、世代の枠を超えた会員相互の交流の機会として、定着してまいりました。

今年度はコロナの影響で3月、8月と2度の延期を経てようやく開催が実現しました。当日は約100名の方が参加し、リピーターの方ももちろん、初参加の方にも多くご参加いただきました。



◆協力と交流

内外でのネットワークを広げる

●日本に出逢う2020 (Meet Japan)への参加 (2020年11月25日)

ベトナム国内の市および省と日本との交流を目的とし、「日本に出逢う2020 (Meet Japan)」がベトナム外務省で開催され、JCCH から岡田会頭、上田事務局長が出席しました。

JCCH はカントー市、ドンナイ省、チャーヴイン省、クアンニン省、バクニン省、ハティン省、ニントウアン省、トウインクアン省、Saigon Investment Groupとの面談を行い、同市、省より地理的側面、人的資源、投資家支援策等、日系企業の投資先としての魅力、優位性の紹介がなされると共に、今後の日系企業との関係強化並びに経済交流等について議論を行いました。



●中小企業による 自社プレゼンテーション大会 (オンライン開催) (2021年1月22日)

本大会は企業交流委員会により企画されました。ベトナムで事業を行う会員企業が、より多くのビジネス機会を得られるよう、自社製品、サービスのPRの場を提供することを目的に試験的に開催されました。当日はランチタイムに9社からのプレゼンが行われ、約70名の方に視聴いただきました。

事務局では有賀企業交流委員長と工藤副委員長等が司会進行を務めました。



会員の声

JCCHの活動の主役は会員企業1社1社の皆様です。ここではJCCHの活動へ積極的にご参加いただいたり、ご協力くださった多くの企業の中から、11名の方々の声を紹介いたします。

1人では難しい社会貢献を、委員会活動を通して実現できました

Hoang Thi Thuy Nhungさん (レオパレス21ベトナム/第二サービス部会)

今年度の社会貢献委員会では、社会福祉団体が運営する低所得者向けの「2,000ドン社会食堂」へ支援を行いました。合計4日間で計約1,340食分の食材費の支援を行い、その内、1日は社会貢献委員会のメンバーが同食堂を訪問し、材料の下準備や配膳作業等も手伝わせていただきました。

当日は利用者の皆様から「ありがとう」と感謝の気持ちや言葉もいただきました。実際に現場を訪れることで、資金のみの支援だけでは感じる事の出来ない、現場スタッフの想いや利用者の気持ちなどを肌で感じることができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。今回の活動を通し、1人では出来ない事も社会貢献委員会を通して実行することが出来ると感じました。これもひとえにJCCHの会員企業の皆様のご理解や、ご支援があって実現したものと考えております。

「たったの1,340食の支援」と思うか、それとも「今回の支援でお腹を満たすことが出来た人が1,340人もいる」と思うか。感じ方は様々かと思いますが、今後も引き続きベトナム社会のお役に立てることがあれば支援していきたいです。



壁を超えるときには、良き出会いがある。今回はゴルフコンペ優勝という出会いがありました

藤井 義士さん (オカネツベトナム/ロンアン部会)

初めてクラブを握った日から30年、100・90・80の壁があり、その度に良き出会いがありました。今回、JCCH懇親ゴルフコンペにおいて優勝(ADコースネット1位)できたのは、一緒に楽しく回って頂いた方々のお陰だと感謝しています。運営に携わって頂きました関係者の皆様、本当にありがとうございました。

JCCHの一員として ドンナイ省との商談会に参加 自社の業務内容を広くPRできました

宇野 誠高さん (フクビベトナム/ドンナイ部会)

2020年12月に開催されたドンナイ省ビジネスマッチング会(ドンナイ省の地元企業と日系企業との商談会)に出展させて頂きました。

2020年11月に営業として着任したばかりの私にとって、当面の課題は、弊社のプラスチック押出成形技術をいかにして広く知って頂くかということでしたので、この商談会はまさに絶好の機会でした。(JCCH & ドンナイ省のご厚意で会員企業に対して展示ブースと看板を無料で用意してくれたことも非常に助かりました。)

当日の展示会は大変な盛況ぶりで数多くの企業が集まり多くの交流が生まれていました。弊社も出展の目標としていた宣伝活動を十分に実施でき、また、コロナ禍を感じさせないベトナムの勢いを感じることができました。このような機会を頂戴できましたことに、JCCHをはじめとする関係スタッフ様一同に感謝を申し上げます。また、今後もこのようなイベントを通して地元企業と日系企業の関係性がより深化していくことに期待をしております。

コロナ禍にも関わらず、ビジネスに前向きな JCCH会員企業に勇気づけられました

小川 久美子さん

(ベトナム・日本人材開発インスティテュート・JICA専門家/第一サービス部会)

2019年8月にベトナムに着任し、2020年7月より、企業交流委員会に参加させて頂くことになりました。

2020年のご承知のとおり、「コロナ」という未曾有の事態で、状況も一進一退、多くの方が安全に集まれる会合も実施できたり中止になったりと、通常とは異なるオペレーションの数々でした。しかしそのような状況の中、ベトナム国内の状況、政府指針に従い開催したイベントのJCCH会員交流会やビジネスマッチングをお手伝いさせて頂きました。様々な業種の方々とお目にかかる貴重な機会を得られて感謝しております。

企業交流委員会が主催した「新規赴任者交流会」では、コロナ禍にも関わらず、多くの新規赴任者の方にご参加頂き、このような状況下でもビジネスを前向きに進めるべく、多くの人材を新たに派遣されている日系企業の皆さまの姿に大変勇気づけられました。





初訪越は1994年。 JCCHもベトナムも様変わりしました

森 英範さん
(サラ建設株式会社／建設部会)

私は1994年に初めて訪越し、1995年から5年間駐在し、帰任しました。その後2009年に再度ベトナムに戻り、現在はベトナム駐在歴16年になります。

最初の駐在時、JCCH改称前のJBAH（ホーチミン日本商工会）にて役員や部会長を担いました。当時は会員数も少なく駐在員の大半が顔見知りというほどでした。JBAHの活動も徐々に活発になりつつある頃で、医療訪問団のお世話をしたり、ホーチミン日本人補習校の支援をしたことを覚えています。約25年前は日本との直行便がようやく飛び始めた頃で、当時と比較すると空港も新しくなり、高層ビルや日本食レストランが激増し、車やバイクも増え、生活の利便性が格段に向上しました。

駐在員が増えるのに伴い、ゴルフ場の数も増加し、ゴルフの環境も大変良くなりました。ゴルフファーにとっては天国と言っていいほどでしょう。まさに25年間のサイゴンの様変わりを目撃していると言えます。



部会の理事をしたことは、 自分自身にとっても 勉強になりました

原田 智也さん
(カネパッケージベトナム／ドンナイ部会)

ドンナイ部会理事として2年間、部会の運営を中心に支援させて頂きました。ドンナイ部会は会員企業数が多く、部会への参加率も高いのが特徴です。特に今年度の第1回部会では出席者が100名を超え、大変盛り上がりました。

こうして多くの部会員の皆様にご参加頂けるのも、ドンナイ部会が楽しく有意義な会だと実感頂けているのではないかと感じています。毎年部会長と理事の皆様がしっかりと運営されてきた積み重ねの結果に、私も微力ながら貢献出来たことを嬉しく思います。ベトナムへの赴任直後に理事就任のお話を頂いたこともあり、少し不安もありましたが、活動を通じて部会長や他の理事の皆様から多くの事を勉強させて頂き、引き受けて良かったと感じています。

また部会を通じて多くの企業様と交流を持ったことを、仕事に活かすことが出来ており、感謝しております。今後もJCCHやドンナイ部会の活動に参加出来ることを楽しみにしております。



危機のときこそ、 ありがたみが分かります。 あってよかった 日本人連携の場！

立光 伸行さん
(神鋼環境ソリューションベトナム／建設部会)

2020年は、世界的にコロナ禍一色の年でした。ここベトナムは、政府の強力な指導のもと、今は経済、生活ともに落ち着いてはいますが、いつ市中感染が拡大するか予断は許されない状況です。

こんな中、JCCHから発信される日本人向けの様々なベトナム・日本両政府の動向、通達等、また日本人の行動に関するガイドライン等、すぐには集められない情報を的確に発信していただき、私も含めた駐在員の不安をずいぶんと解消してくれたことに感謝しています。

また、海外ならではの異業種の方々との交流ができる場として、私は有効に活用させて頂いています。今後もこの日本人連携の場を私は、有効に活用していくと共に、周囲の日系企業で商工会議所に参加されていない方がいれば、ご紹介出来ればと考えております。



物理的に会うことができない中、 JCCH主催のプレゼン大会にWEB参加

川村 泰裕さん
(ゴエン／第一サービス部会)

私は、JCCHとして初の試みであった「中小企業による自社プレゼンテーション大会@WEB」にプレゼンターとして参加いたしました。短時間で多くの皆様に弊社のことを伝えることが出来た機会は本当に貴重な場だと感じました。

その中でも、聴講いただいた皆様はもちろん、事務局の皆様からも事前のリハーサルであったり、当日も緻密な運営をいただいたことに感謝しております。

コロナ禍の中で、人と人が物理的に会えない中で、JCCHの皆様のごような新たなチャレンジに、弊社含め、JCCHの会員企業の皆様も刺激を頂いたと思います。これからもよろしくお願いたします！



「コロナに負けるな！」
2分38秒の映像
撮影・編集で感じた
“JCCH結束力”

坂本 隆太さん

(サクラエコロジー／第一サービス部会)

渉外・広報委員会が作成した「コロナに負けるな！」と元気つける声からスタートする2分38秒の映像。タイトルコールに協力していただいたのはホーチミン日本人学校の児童・生徒たちでした。

この時期、学校では先生の多くがベトナムに入国できないという問題に直面していました。そんな中でも、児童・生徒らは明るく元気に私たち撮影スタッフを迎えてくれました。ありがとうございました。また、執行役員の皆様にも撮影にご協力いただきました。皆様が発した言葉は「共に」「協力」「団結」「一緒に乗り越える」「絆」どれも力強いメッセージ。さらに在ホーチミン日本国総領事館の渡邊総領事にも参加していただきました。

コロナとの闘いはまだ終わっていません。しかし、ベトナムで「いざ！」という時、JCCHの「結束力」は半端ねーな…と実感しました。ご協力ありがとうございました。



不安な中での
新規赴任でしたが、
JCCHに入会して貴重な
情報を頂きました

田邊 大介さん

(マルテー大塚ベトナム／貿易部会)

2020年7月にERCを取得した新規のベトナム国内市場向けの塗装用具の会社です。同年10月に一般会員として貿易部会に入会させていただきました。

2020年はコロナの影響で、ベトナムへの出張が出来ず、ベトナムのルールや習慣を十分に把握出来ていない状況での赴任となりました。そのような状況の中でも何とか情報を得たいと思い、ふらっとJCCH等、様々なJCCH主催の交流会やセミナーに参加させていただきました。会場では、オープンな方々が大変多く気軽にお話をさせていただける雰囲気があり、多くの方々から貴重なご意見を頂くことができました。

JCCHの方々をはじめ、皆様には大変感謝をしております。異業種の企業様のビジネススタイルを勉強させていただく場としても活用させていただいております。今後も様々な意見交換の場として皆様とお話しできることを楽しみにしております。



JCCHのゴルフコンペで念願の優勝
来年はベスグロ&ネット同時優勝を狙います

中込 吉恒さん

(東レインターナショナル／貿易部会)

この度は、渴望していた「JCCH 懇親ゴルフ大会 2020(BCコースネット1位)」に手が届き、本当に嬉しい経験が出来ました。優勝賞品に頂いたHo Tram Grandで、クリスマスは妻とゴルフを満喫しました。

コロナ禍で運営が大変困難な中、開催にこぎつけて頂いたJCCH事務局の皆様、さらにプレーもせずにご協力頂いていたサポーターの皆様、御礼申し上げます。今回の優勝は、ラッキーにも、トリ2つ+ダボ4つが見事にハンデ計算にはまり、ダブルペリアマジックの賜物でした。

来年はベスグロ&ネットに同時優勝できるように、より一層ストイックに肉体+スイング改造精進していきます。

委員会別 活動報告

JCCHには、「事業環境改善」「社会貢献」など、それぞれ異なるテーマを持つ10の実行委員会が活動しています。委員会は、委員長、1名以上の副委員長と複数の委員によって構成されており、JCCHの活動目的である事業及び生活環境の改善を促進するのがこれらの委員会です。委員会への参加は任意で、また所属部会に関係なく、各委員会の主旨と専門性に基づき組織されています。

■事業環境委員会



委員長
矢口 武
(伊藤忠ベトナム)



新型コロナウイルスの感染拡大のために、毎年恒例となっていた視察は今年度、開催を断念致しました。また対面式のラウンドテーブル会議こそ中止になりましたが、当局との実務者レベルでの協議は行い、事業環境改善には一定の成果をあげることができました。

【主な活動】

- 7月20日(月) 2020年度視察関連打合せ
- 8月26日(水) 在ホーチミン日本国総領事館訪問

【ラウンドテーブル】

- 6月30日(火) 4委員会合同会議(事業環境・税務通関・法務・労務)
- 7月22日(水) ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルキックオフミーティング
- 9月24日(木) ラウンドテーブル要望書最終内容確認(岡田会頭・4委員会委員長)
- 11月10日(火) プレラウンドテーブル(生活環境、法務労務)
- 11月17日(火) プレラウンドテーブル(通関、税務)
- 12月17日(木) ラウンドテーブル 中止
- 12月29日(火) ラウンドテーブルクロージングミーティング

【委員会会合】

- 7月1日(水)、●9月4日(金)

■法務委員会



委員長
中川 幹久
(長島・大野・常松法律事務所)



日本とは異なるベトナムの法律やその運用に戸惑われている方も多いと思います。ラウンドテーブルや日越共同イニシアティブなど各種チャネルを使い、日系企業の適切な活動をサポートさせて頂く所存です。

【主な活動】

- 9月18日(金) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 10月13日(火) ベトナムビジネスフォーラム年次総会
- 11月10日(火) プレラウンドテーブル(法務・労務チーム)
- 11月11日(水) 競争法セミナー(競争消費者庁主催)
- 11月19日(木) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 12月9日(水) 日越共同イニシアティブ・プレキックオフ会合
- 12月10日(木) VBF首相對話
- 12月11日(金) 労働法セミナー(新労働法に基づく改正点)開催
- 12月17日(木) ラウンドテーブル 中止
- 12月22日(火) ベトナムビジネスフォーラム年次総会
- 12月29日(火) ITPCとのラウンドテーブルクロージングミーティング
- 3月26日(金) 労働法セミナー(基礎編)開催

【委員会会合】

- 定例会合はすべて労務委員会と共催
- 6月23日(火)、●8月4日(火)、●10月8日(木)、●10月30日(金)

■労務委員会



委員長
吉田 盛
(AGCケミカルズ・ベトナム)



本年は制約条件が多く、当初予定していた委員会運営ができなかったことが反省点。WEB会議システム等、便利な代替手段が出てきた。今後の委員会活動での活用を積極的に進めることを提言したい。

【主な活動】

- 10月13日(火) 2020年 ワーカー賃金調査 集計開始
- 12月1日(火) 2020年 ワーカー賃金調査 集計結果報告
- 12月11日(金) 労働法セミナー(改正法説明編)
- 3月26日(金) 労働法セミナー(基礎編)開催

【特別活動】

- ワーカー賃金調査について従前は6製造部会の会員企業が手入力したエクセルシートを部会別を集めて、手作業で集計作業を実施していた。今年度はGoogle Formsを使用し、入力工数の削減とともに当統計の母集団の拡大を企図した。2019年179社→2020年245社で回答数増実現とともに、集計レポート作成作業の事務局対応への道筋をつけた。
- 労働法セミナーは当局からの大規模集会の自粛指示に従い、ホテルでの現地開催を断念。WEBにて弁護士委員、企業委員のパネルディスカッションを中継して対応。(約260名聴講)

【委員会会合】

- 定例会合はすべて法務委員会と共催
- 6月23日(火)、●8月4日(火)、●10月8日(木)、●10月30日(金)

■ 税務・通関委員会



委員長
小野瀬 貴久
(EYベトナム)



5回行ったセミナーはすべてWEBでの開催。当初は不安もありましたが、「WEBの方が参加しやすい」との声が大半を占めており、結果としては全てのセミナーをWEBで開催させて頂きました。参加者は毎回100人超で好評を頂いています。

【税制セミナーの開催】※今年は全てWEB開催

- 9月29日(火) 第1回「移転価格税制編」EYベトナム 西川 貴陽氏 参加者:180人
- 10月27日(火) 第2回「個人所得税制編」GRANT THORNTON VIETNAM 唐牛 理任氏 参加者:155人
- 11月24日(火) 第3回「付加価値税・外国契約者税編」AGS 鶴田 明久氏 参加者:138人
- 12月22日(火) 第4回「法人税制編」JES CONSULTING VIETNAM 高田 真氏 参加者:125人
- 1月26日(火) 第5回「税務調査編」KPMG 谷中 靖久氏及び西井 康雄氏 参加者:161人

【特別活動】

- 税務個別Web相談会の実施

【ラウンドテーブル】

- 事業環境委員会と連携し税務・通関分野を担当

■ 社会貢献委員会



委員長
八木 崇典
(三井住友銀行)



今期は、2000VND社会食堂の支援、クチ県の中学・高校への図書への寄付等、新たな活動も実施しました。また、支援先との触れ合いを通して、ベトナムへの感謝と恩返しのお気持ちを示すことができました。

【主な活動】

- 5月25日(月) 今期活動方針について打合せ(岡田会頭・上田事務局長)
- 7月18日(土) ロンアン省橋完成式【新規チーム】
- 10月17日(土) ドンナイ省THIEN BINH社会福祉センターを再訪【ふれあいチーム】
- 12月19日(土) 「2,000VND社会食堂」への支援、訪問【心の清掃チーム】
- 1月16日(土) クチ中学・高校への図書等の寄付、訪問【新規チーム】
- 1月30日(土) 9区孤児院への洗濯機・乾燥機・浄水器の支援、訪問【心の清掃チーム】

【その他活動】

- 11月 8日(日) JCCH懇親ゴルフ大会にて社会貢献委員会チャリティ募金を実施。(募金VND28,364,300)

【委員会会合】

- 6月23日(火)、● 7月23日(木)、● 8月21日(金)、● 9月24日(木)、● 10月22日(木)、● 11月18日(水)、● 12月16日(水)、● 1月14日(木)

■ スポーツ・文化委員会



委員長
小手川 勲
(東京海上ベトナム)



コロナによりマラソン大会と新年会が中止となり、とても残念でしたが、懇親ゴルフ大会には約300人が集まり、大いに盛り上がる事が出来ました。参加された皆様並びに事務局・スタッフ・委員の皆様には感謝しています！

【ゴルフ大会】

- 10月 7日(木) 懇親ゴルフ大会の事前打ち合わせ
- 11月 8日(木) JCCH懇親ゴルフ大会2020

【マラソン大会】

- 中止

【新年会】

- 1月8日(木)中止

【委員会会合】

- 7月9日(木)、● 11月23日(木)

■ 組織・規約委員会



委員長
水嶋 恒三
(双日ベトナム)



新型コロナウイルスからの影響にどう対応するか、その基本方針を検討するのが大きな課題の一年でした。会員のニーズを把握するためにアンケートを実施しました。

【特別活動】

- 会員アンケートの実施
- 会費請求対応(任意部会の取り扱い変更に関わる対応を含む)
- 新型コロナウイルス感染症に係る JCCH行事の開催方針の策定・改定
- 参加確認の運用変更
- 部会予備費の活用・分配方法の策定

■日本人学校運営委員会



委員長
山本 和人
(大成美術プリンティングベトナム)



新型コロナウイルスの影響で日本人学校も休校を余儀なくされましたが、オンライン授業で新年度の授業を開始。5月からは登校しての授業を再開しています。バスアプリの導入などIT化も推進できました。

【トピックス】

- 2月 3日(月) 新型コロナウイルスの影響により休校開始
- 5月 5日(火) 中学部3年生の登校再開を皮切りに順次再開
- 8月 25日(火) バスアプリ利用開始
- 9月 6日(日) ホーチミン日本人学校入学式
- 10月 4日(日) ホーチミン日本人学校運動会
- 11月 6日(金) PTA共催 カウンセリング事業開始
- 11月 29日(日) 日本人学校卒業式(中学部)
- 3月 11日(木) 日本人学校卒業式(小学部)

【委員会会合】

- 5月 21日(木) 第1回日本人学校運営委員会
- 6月 1日(月) 在ホーチミン日本国総領事館、会頭とのオンラインミーティングを開催。
- 7月 16日(木) 第2回日本人学校運営委員会
- 9月 17日(木) 第3回日本人学校運営委員会
- 11月 16日(月) 第4回日本人学校運営委員会
- 12月 8日(火) 学校警備について打ち合わせ
- 1月 18日(月) 第5回日本人学校運営委員会
- 2月 22日(月) 第6回日本人学校運営委員会

【その他活動】

- 10月 13日(火) ハノイ日本人学校との懇談会

■企業交流委員会



委員長
有賀 正宏
(フォーバルベトナム)



コロナ禍において延期を余儀なくされた企画が多数ありましたが、様々な形で会員間の交流の機会を作ることができました。リアルな交流が制限される中「オンラインプレゼン大会」を実施するなど、新しい交流の在り方を模索してきました。

【主な活動】

- 7月 16日(木) 新規入会企業と理事との交流会(参加:17社24名)
- 10月 7日(水) 新規赴任者交流会 2020年(前期)(参加者:103名)
- 10月 15日(木) JCCH会員交流パーティー(参加者:約400名)
- 10月 28日(水) 第8回ふらっとJCCH(参加者:103名)
- 11月 19日(木) 新規入会企業と理事との交流会(参加:17社24名)
- 12月 3日(木) ドンナイ省と日系企業のビジネスマッチング(参加社数:47社・参加者人数:約110名)
- 1月 22日(水) JCCHプレゼン大会

【出張相談会】

- 7月 10日(金) ミーフック工業団地(対象:ミーフック1~3 & パウバン& BW)
- 7月 22日(水) ニョンチャック工業団地(対象:ニョンチャクⅢ&JSC)
- 7月 23日(木) VSIP工業団地(対象:VSIP 1 & 2)

【委員会会合】

- 6月22日(火)、● 7月7日(火)、● 10月6日(火)、● 11月10日(火)、● 12月8日(火)、● 1月12日(火)

■渉外・広報委員会



委員長
藤島 洋
(ALSOK ベトナム
セキュリティサービス)



ホームページやフェイスブックを通して、コロナ禍での会員の活動を支援・応援しました。またホームページは現在、全面的な改修を行っており、利便性・操作性が向上する予定です。

【主な活動】

- JCCH活動を出るだけタイムリーに且つ定期的にメディアを通じて発信することで、対会員内外へJCCHへの理解を広める施策を行った。(日系フリーペーパー各誌、フェイスブックなどを主なメディアとして活用)
- 在住日本人のための生活セミナーの実施、メルマガ配信(各2回ずつ)
- 年間刊行物「メコンの風~2020年度活動報告」と「JCCHガイドブック2021」の制作・発行
- 他国商工会議所との交流

【特別活動】

- 5月 4日(月) JCCHホームページ:コロナウイルス関連情報ページの公開
- 10月 29日(金) 生活セミナー(医療)
- 11月 JCCHカード加盟店アンケート実施
- フェイスブック「いいね」数増加施策:「コロナに負けるな!」動画公開、広告掲載
- 2月 2日(火) 生活セミナー(防犯)
- 進行中 JCCH ホームページ全面リニューアル。利便性、操作性の向上を目的としてWEBサイトの全面更新を実施中。

【委員会会合】

- 7月8日(木)、● 8月12日(木)、● 9月22日(水)、● 10月22日(金)、● 12月9日(木)、● 1月13日(水)、● 2月23日(火)

部会別活動報告

商工会議所活動の基本となるのが「部会」です。部会は、業務内容および地域で分かれており、現在、JCCHには13の部会があります。それぞれの部会に含まれる業種・地域については右の表をご覧ください。

各部会は、部会長、副部会長に数名の理事を加えた役員によって運営されています。いずれの場合も、活動の基本となるのは「部会会合」で、約2か月に1回、開催されています。これに加え、所属する会員企業のニーズに合わせ、工場見学会や勉強会、親睦を深めるための新年会やゴルフなど、それぞれ特色のある活動を行っています。

部会名称	業種区分・地域区分
貿易部会	貿易、商業
建設部会	建設、建材関連
運輸部会	陸海空運、倉庫運輸関連
第一サービス部会	コンサル、人材派遣、広告、流通小売、内装、教育等
第二サービス部会	旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備等
IT部会	情報通信、ITソフトウェア開発
金融・保険部会	金融保険、不動産ファイナンス
ホーチミン市部会	下記以外ホーチミン市及び その他地域に所在する製造業等
タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地及び リンチュン工業団地入居製造業等
ビンズン部会	ビンズン省に所在する製造業等
ドンナイ部会	ドンナイ省に所在する製造業等
ロンアン部会	ロンアン省に所在する製造業等
バリアブントウ部会	バリアブントウ省に所在する製造業等

貿易部会

セミナー、ゴルフコンペ共に
平均40～50名参加で学習と親睦を促進。



部会長
山下 茂樹
(ベトナム住友商事)

2020年度はセミナーを5回実施し平均50名の方に参加頂きました。テーマは「コロナ後のベトナム経済の展望」「ベトナムのCOVID-19対策と邦人社会～現地に住む日本人医師の立場から～」「コロナ禍における日本からの特別入国の経験について」「ダナンの不動産開発の苦労と今後の展望」「ベトナムにおけるM&Aの近年の動向と留意点」「COVID-19下におけるベトナム入国プロセス」と多彩な講師による幅広い内容です。新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から一部はオンラインによる開催でした。昨年引き続きHCMC地下鉄のTHU DUC車輛基地及び駅の見学も行っています。懇親チャリティーゴルフコンペは2回実施し平均約40名の参加。チャリティーはJCCHが行う社会貢献活動に活用されています。



地下鉄工事現場視察(2021年1月14日)

建設部会

160社超の会員企業で多彩な交流。
3回のチャリティー活動で社会貢献も。



部会長
田中 大輔
(ベトナム竹中)

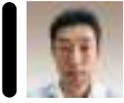
コロナ禍にも関わらず、部会および懇親会の同日開催を5回行うことができました。勉強会として、7月に三菱UFJ銀行の藤代様、9月にJETRO ホーチミン事務所の比良井様、11月にPwCベトナムの福永様、1月にWILLIS TOWERS WATSON VIETNAM INSURANCE BROKEの下嶋様、3月にウェストコーストデンタルクリニック松本様にご講演いただきました。また会員親睦の場としてチャリティーゴルフコンペを3回開催。社会貢献にも寄与しました。アンケート調査を2回行い、勉強会内容選定、チャリティーゴルフルール改定、チャリティ支援金給付、ゴルフ以外の懇親会や他部会交流の企画、会員企業の声を幾つか実現。1月には一時帰国が叶わない会員のために新年会を開催するなど、理事一丸となって会員間の交流を図りました。



第110回チャリティーゴルフコンペ(2020年7月29日)

運輸部会

コロナ禍の中でも8回の行事を実施し、中でも10月の夕食懇親会は大盛況。



部会長
小林 信敬
(日本郵船ベトナム)

2020年度は「会員企業同士の交流」を部会活動のテーマと設定しました。しかし新型コロナウイルスの影響により当初計画からの大幅な修正を余儀なくされ、部会・昼食懇親会は計4回(当初6回を予定)、夕食懇親会は1回(同2回を予定)、チャリティーコンペは計1回(同4回を予定)の開催となりました。部会には毎回半数の会員企業が参加。とりわけ10月に開催した夕食懇親会は大盛況。ダナンでの市中感染を受けて8月開催を一度断念した後の仕切り直しであっただけに、参加会員企業の皆さまにとって良い懇親の場となったようです。また参加者を各社より1名ずつと限定したことにより、より会員企業同士の懇親が進んだように感じました。



運輸部会コンペ集合写真(2020年10月2日)

第一サービス部会

すべての部会を他部会と合同で実施。講演会や懇親会を通じて積極的に活動。



部会長
根岸 正実
(インテージベトナム)

他部会との交流への要望が高いので、本年も全ての部会を他部会との合同で実施しました。コロナ禍で集会が禁止されていた春・夏の時期はオンラインで、集会の制限がなくなってからはホテルで、それぞれ合同部会を企画・開催。部会の中では、テーマの異なる講演会を実施しました。11月の合同部会では4部会(第二サービス、ホーチミン市、IT)で実施し、150名を超える参加者となりました。他の業界の方のお話を伺う貴重な機会になったと思います。部会員からの意見を見ても、他部会との合同部会の満足度が高いことから、今後も積極的に開催していく予定です。また親睦を深めるゴルフコンペは他部会(第二サービス、金融・保険)と合同で開催しています。



4部会合同部会にてダブルウィッシュによる前座が行われました(2020年11月26日)

4部会合同部会で講演頂いたトルシエ元日本代表監督(2020年11月26日)

第二サービス部会

B to Cビジネスへの注目度が高く、異業種との合同部会が人気。



部会長
平田 智有
(ゼンショーベトナム)

本部会は、旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備などの業種で構成されており、ベトナムでのB to Cビジネスの話題が活発にやり取りされています。例年は5回程度の部会を開催していますが、本年度は新型コロナウイルスの影響で2回にとどまりました。しかし各回では60~70名の部会員にご参加頂き盛況。特にホーチミン市部会、IT部会という業種が異なる部会と開催した11月の合同部会には、サッカー元日本代表監督のトルシエ様に講演をして頂き、多く参加者が集まりました。日本とベトナムサッカーの違いや、ワールドカップの選手選出の話は大好評でした。内容もさることながら部会員の皆様の積極的な部会への参加を促す効果もあったかと感じております。



4部会合同部会(2020年11月26日)

IT 部会

部会内での交流を促進。
フットサル大会等イベントも積極的に開催。



部会長
角田 尊和
(KDDIベトナム)

部会は、合同部会を含め計5回実施し、毎回50名を超える方に参加していただきました。部会では理事会報告の他、講師を招いて勉強会、懇親会を実施しました。また本年も労務環境アンケート調査を実施し、報告会では結果を共有するとともに弁護士の先生をお呼びして、課題の共有や対応策について活発な意見交換を行いました。チャリティー、親睦イベントとしては、ゴルフコンペを2回開催。今年度で4回目となるフットサル大会は、ベトナム人スタッフを中心とした運営で行われ、昨年の16チームから28チームまで参加チーム枠を拡大して開催。参加費用の一部をチャリティーとして寄付を実施。優勝を目指して、熱戦が繰り広げられました。



フットサル大会1 (2020年11月28日)

金融・保険部会

多彩なテーマで勉強会を開催。
対外活動やセミナープールも盛況。



部会長
浜野 健太郎
(三菱UFJリース)

部会を2か月に1回開催し、知識啓発や情報収集の場として役立てるよう工夫をしてきました。20周年を迎えたベトナム資本市場の動向や、発展目覚ましいベトナムのヘルスケア市場の状況など、様々な勉強会を開催。勉強会の後の懇親会はいつも盛り上がり、有益な情報交換の場になったと思います。また対外活動では「ホーチミン地下鉄1号線建設現場(オペラハウス駅)」の見学会を実施し、日本企業の技術力の高さを目の当たりにすると共に、当地ならではの苦労話などをお伺いしました。本部会は、金融を中心とした専門的な知識を持った会員企業が多いため、例年通りセミナープール(他部会への講師派遣)を積極的に働きかけており、本年も多くの他部会に活用いただきました。



地下鉄オペラハウス前駅の視察(2020年11月25日)

ホーチミン市部会

コロナ禍による制約を受けるも、
新たな試みとして4部会合同部会を開催。



部会長
武村 先
(出光興産ホーチミン鉱業所)

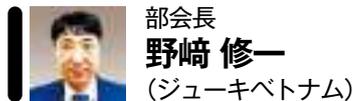
本部会の特徴は所属会員数が多く、業種が多岐に亘り所在地も広範なことです。これを活かして、普段は接する機会が少ない業種・業界や著名人のお話に触れ、新しい視点を獲得の機会を提供すべく活動しています。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で部会活動に大きな制約を受けましたが、感染拡大が一段落した11月には他部会(第一サービス部会様・第二サービス部会様・IT部会様)と連携し初の試みとなる4部会合同部会を開催しました。この合同部会にはダブルウィッシュ様、サッカー元日本代表監督トルシエ様をゲストとしてお招きし、30名を超える部会員が参加。部会の垣根を越えて懇親を深めると共に、新たな気づきを得られる場の提供に繋がりました。



JCCH 4部会合同部会にて講演するトルシエ氏(2020年11月26日)

タントアン・リンチュン部会

新機軸「部会内共通一斉メール」で
今まで以上に情報の共有が図れました。



部会長
野崎 修一
(ジューキベトナム)

コロナ禍の中、新たに開始した「部会内共通一斉メール」によって、各企業様の課題や取組に関する情報の共有化は今まで以上に図れたと思います。特に2月から4月にかけて行われた、政府機関によるコロナ対応状況に対する企業監査時には、各企業で実施している対応や工夫、政府機関審査に対する監査内容・方法等を共有できた事は非常に良かったと感じています。9月に実施しました「改正労働法セミナー」は参加率が93%と非常に高く、質疑応答でも活発に意見が出され、非常に有意義な機会となりました。親睦面としては、チャリティーゴルフコンペが6回開催予定に対し2回の開催、忘年会も中止となってしまったのが残念でした。



改正労働法セミナー
(2020年9月23日)



第84回チャリティーゴルフコンペ
(2020年12月13日)

ビンズン部会

ビンズン省主催の展覧会に出展。
入国情報の共有などの相互扶助も。



部会長
大沼 稔
(ペカメックス東急)

新型コロナウイルスにより、行事は減少を余儀なくされましたが、上期は納涼会、ゴルフコンペなど、規制と緩和を縫うように活動を実施し交流を深めました。下期に開催されたビンズン省社会経済功績展覧会では、当地の台湾、韓国商工会と並んで出展。JCCH、JETRO、エイチ・アイ・エス ソンハンベトナムツーリスト様等関係各位の協力を頂いて完成した日本の魅力溢れるブースには、Nam書記長はじめ、多くの省幹部や日本ファンの方々にご訪問頂き、部会企業の活動を紹介しました。新型コロナウイルスによる事業への影響、労働組合関連事項などについてアンケートも実施。また日本からの入国に関し、多数実績のある部会企業から手続きや留意点など情報提供を頂き、部会内で共有できたことは、相互扶助の現われと大変感謝しています。



ビンズン省社会経済功績展覧会
(2020年10月13日～16日)



第3回ベトナム日本国際ユースカップU-13@ビンズン省
での山田大使との昼食会(2020年12月20日)



ビンズン部会納涼会(2020年7月24日)

ドンナイ部会

部会内行事の参加者は例年より多目。
ドンナイ省とのイベントも複数開催。



部会長
吉田 直文
(ベトナムNOK)

新型コロナウイルス感染対策規制の影響があり、部会は3回(うち1回はバリアブントウ部会との合同部会)。チャリティーゴルフ大会は2回と、例年より少ない開催になってしまいました。部会後は、毎回懇親会を開催しています。参加者数は部会で毎回100名前後、ゴルフ大会は60名前後と非常に盛況。尚、ゴルフ大会では1300万ドンを超えるご協力を頂き、地域社会へ貢献できました。参加者数が多かった理由としては、国外出張が出来ずに国内にいる時間が長かった影響もあると思われます。また、ドンナイ省とのイベントも複数回開催し、9月22日にはドンナイ省税関局との対話集会、11月27日にはドンナイ省内大学高専とのジョブフェア、12月3日にはビジネスマッチングが開催されました。



ドンナイ省税関局との対話集会
(2020年9月22日)



チャリティーゴルフ大会
(2020年10月11日)

ロンアン部会

コンパクトながら活動的な部会で、
活発な交流・情報交換を実施。



部会長
関 一郎
(ビナエコボード)

当部会では毎年5～6回のイベント開催を行ってまいりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定していた講演会が中止となる等、規模を大きく縮小せざるを得ない状況となりました。一方で10月にはサッポロベトナム様のビール工場で夏祭りを開催するなど、コロナ禍にあっても、部会員の皆様との交流を行うことができました。ロンアン部会は他部会に比べて規模の小さい部会ではありますが、それゆえにコミュニケーションも図りやすく、ロンアン省特有の課題についても積極的に情報交換を行っています。今後も、他部会との連携するイベントやセミナーの開催等を積極的に行いたいと思います。



共に部会活動の様子会(2020年10月14日)

バリアブントウ部会

渡邊総領事、Tho委員長の参加を得て
2年ぶりにラウンドテーブルを開催。



部会長
岩佐 博之
(VINA KYOEI STEEL)

ドンナイ部会との合同部会を加えて合計5回の部会開催を実施、恒例となったロンアン部会との親睦対抗ゴルフを開催し、当部会が連勝記録を伸ばしました。1月にはPhu My工業団地3の工業用水として利用されている省内の浄水施設と、その水源となる湖及びロンソン石油化学工場の建設現場を視察しました。また人民委員会とのラウンドテーブルを2年振りに開催。複数の部会企業が直面している工場等の拡張投資に対するVATの還付問題が集中的に議論されました。渡邊総領事が会議だけでなく懇親会までご出席くださり、同省人民委員会からはTho委員長はじめとして多くの幹部が参加され、JCCHと人民委員会の幹部同士が親くなる有意義な時間を共有することが出来ました。



バリアブントウ省人民委員会
とのラウンドテーブル
(2020年12月24日)



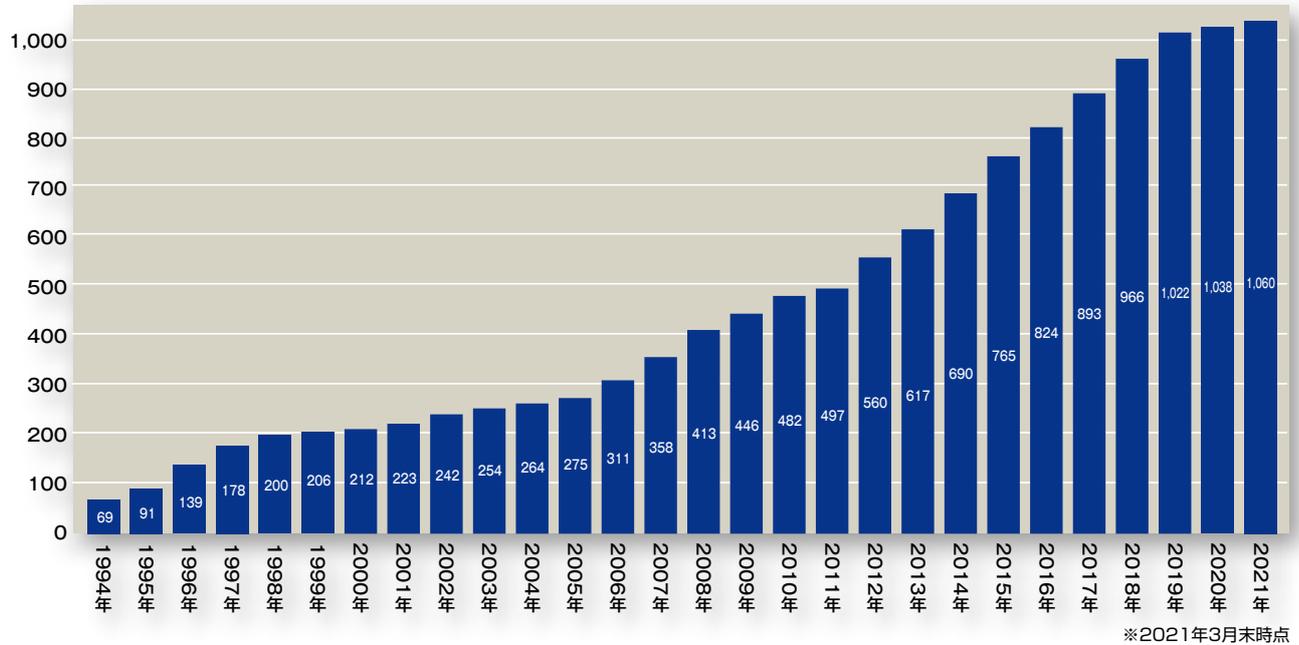
バリアブントウ省浄水施設視察
(2021年1月19日)

ロンソン石油化学工場の建設現場視察
(2021年1月19日)

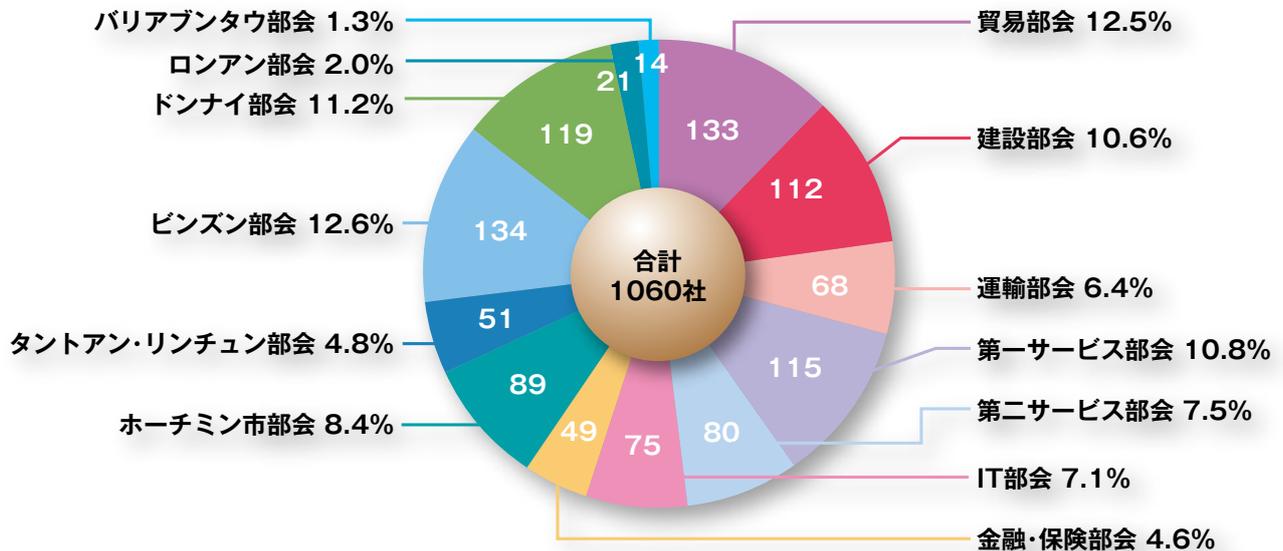
データで見る JCCH 活動

JCCHの会員数は現在1,060社(2021年3月現在)で、これはベトナムにある3つの日本商工会議所の中で最多です。3つの商工会議所の合計会員数は1,994社で、上海日本商工クラブの2,331社、バンコク日本商工会議所の1,763社と肩を並べる大きな存在となります。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のために、国外での事業継続が困難な中、ベトナムの3つの日本商工会議所の会員数合計が、1,949社から1,994社へと増えたのは意義深いことだと言えるでしょう。

■会員数推移



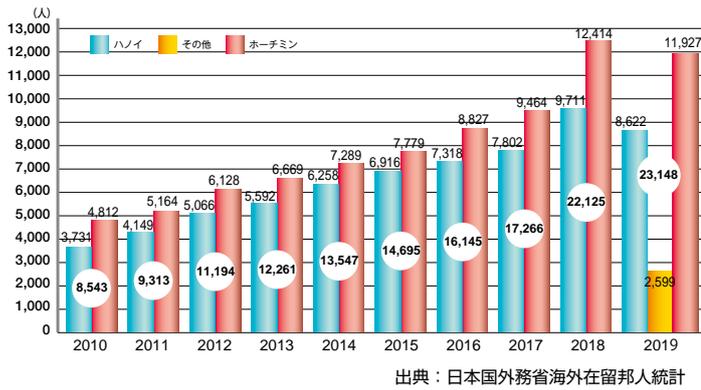
■部会構成



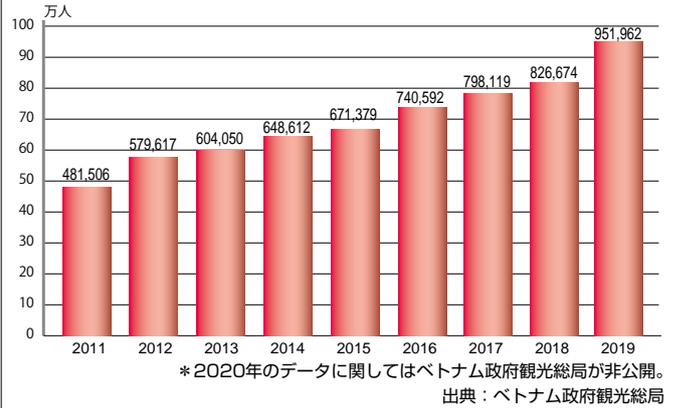
■在ベトナム日本商工会議所の会員数



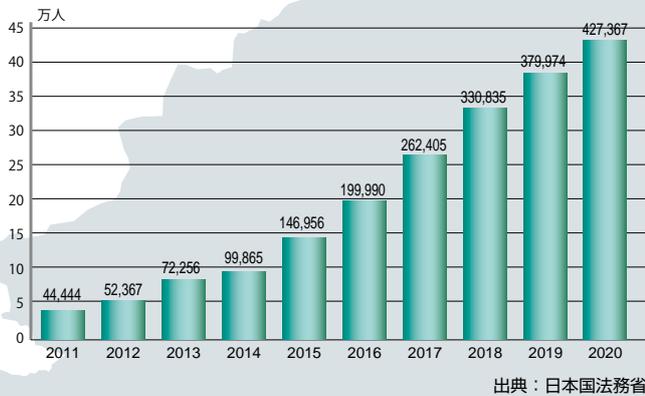
■ベトナム在留邦人数の推移



■ベトナムを訪れた日本人の人数推移



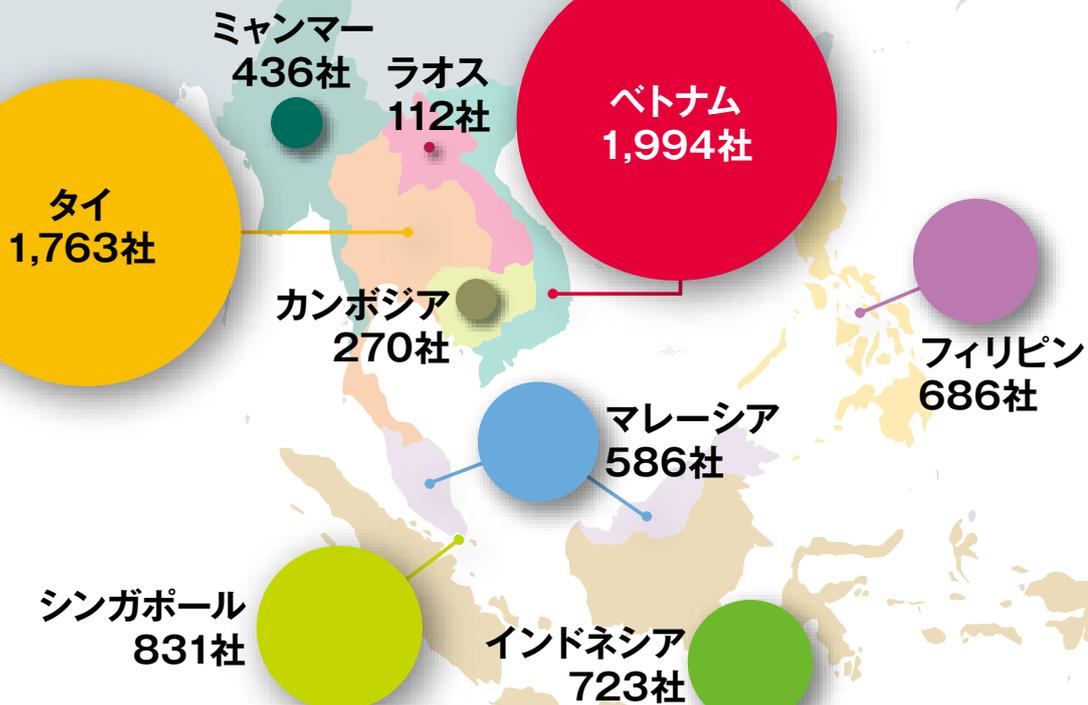
■日本在留ベトナム人数の推移



■日本を訪れたベトナム人の人数推移



■近隣諸国にある日本商工会議所の会員数



*日本商工会議所に相当する組織は国によって名称が異なります。各組織のウェブサイトなどで公表されている最新の数値を参照しました。

JCCHニュースフラッシュ

JCCHの活動は、JCCHのウェブサイトやフェイスブックなどで紹介するだけでなく、さまざまなメディアで取り上げられています。主な掲載事例を紹介しましょう。

●時事通信社



日本を代表する通信社の一つである時事通信社が発行する「時事速報ベトナム版」での掲載事例。



事業所の感染リスクで評価指標=新型コロナ対応で操業の可否判断 (2020年4月10日)



65%が新型コロナで減収=人の往來の早期再開求める声強く=ベトナム進出日系企業調査 (2020年7月1日)



新たな取引先模索し、ベトナム企業と商談会=ベトナム・ドンナイ省で=ホーチミン日本商工会議所 (2020年12月7日)

●新潟総合テレビ



同局は2016年、ホーチミン市にASEAN支局を開設し、ベトナムおよび周辺国の取材活動を行っています。10月に行われた会員交流パーティーを紹介して下さいました。



日本・ベトナム交流促進へ 商工会議所が本格的な活動再開「休んだ分挽回する」【新潟】

日本・ベトナム交流促進へ 商工会議所が本格的な活動再開「休んだ分挽回する」



●NNA



日本を代表する通信社の1つ共同通信グループのNNAが発行する「The Daily NNA ベトナム版」での掲載事例。



カメップ港の課題や航路増加でセミナー (2020年9月7日)



佐川急便、越豪雨災害で支援物資を無償輸送 (2020年12月10日)

●連載「ベトナムのオフな面々」

ホーチミン日本商工会議所と、ハノイのベトナム日本商工会議所が、月刊日本語フリーペーパー「ベトナムスケッチ」とがタッグを組んで、会員の余暇の過ごし方を紹介する連載企画です。JCCHの面々は隔月で登場します。



●週刊SK

『週刊SK』では「日本商工会議所ニュース」というコーナーで、JCCHとベトナム日本商工会議所の活動を適宜、掲載しています。



2020年8月31日号



2020年10月26日号



2020年11月23日号



2020年12月21日号

●月刊ACCESS

ビジネス情報誌『月刊ACCESS』に上田事務局長のインタビューが掲載されました。



2020年5月号

●週刊Vetter

『週刊Vetter』誌上で、ドンナイ省で行われたJCCH会員企業とベトナム企業のビジネスマッチング会の告知が掲載されました。



週刊Vetterが発行する「ベトナムビジネスガイドブック」でJCCHが紹介されています。



JCCH 懇親ゴルフ大会2020の様子が『週刊Vetter』で今年も大きく取り上げていただきました。

●ベトナム語媒体



ベトナムで最大の発行部数を持つTuoi Tre 新聞に掲載された記事。JETRO と在ベトナムの3つの日本商工会議所が協力して行ったアンケート結果を紹介しています。



9月22日に行われた、ドンナイ省税関局主催日系企業との対話集会についての報道。



12月3日に行われたJCCH会員企業とドンナイ省のベトナム企業のビジネスマッチング会についての報道。

事務局主要活動実績表

2020年

▼開催場所

4月

13日(月)	【延期】日本人学校入学式	—
20日(月)	2019年度・2020年度合同執行役員会	WEB開催
24日(金)	第27回定期総会	WEB開催
	第1回理事会	WEB開催

5月

2日(土)	緊急執行役員会(3会議所合同)	WEB開催
18日(月)	第1回執行役員会	JCCH
	日本人学校運営委員会	JCCH
21日(木)	第1回部会長会	パレスホテル
	第2回理事会	パレスホテル
27日(水)	金融・保険部会	CJ Only One Biz Center会議室
28日(木)	兵庫県立大学向けレク	WEB開催
	バリアブントウ部会	JCCH

6月

15日(月)	第2回執行役員会	JCCH
16日(火)	JBIC「成長投資ファシリティ“新型コロナ危機対応緊急ウインドウ”」説明会	WEB開催
18日(木)	第3回理事会	パレスホテル
19日(金)	ピンズン部会	十五夜迎賓館
	FJCCIA事務局長会議	WEB会議
22日(月)	企業交流委員会	JCCH
23日(火)	法務・労務合同委員会	JCCH
	社会貢献委員会	三井住友銀行
24日(水)	JBIC「成長投資ファシリティ“新型コロナ危機対応緊急ウインドウ”」説明会	WEB開催
30日(火)	岡田会頭、ラウンドテーブル担当委員長との打合せ	JCCH

7月

1日(水)	事業環境委員会	JCCH
2日(木)	ロンアン部会	JCCH
7日(火)	企業交流委員会	JCCH
8日(水)	渉外・広報委員会	JCCH
9日(木)	組織・規約委員会	JCCH
	スポーツ・文化委員会	東京海上ベトナム
10日(金)	渡邊総領事表敬訪問	総領事館
	工業団地出張セミナー	ピンズン省ミーフック工業団地
13日(月)	第3回執行役員会	JCCH
14日(火)	ドンナイ部会	サイゴンホテル
15日(水)	【中止】バリアブントウ省表敬訪問	—
	日本人学校運営委員会	JCCH
	第2回部会長会	JCCH
16日(木)	第4回理事会	パレスホテル
	理事と新規入会企業との交流会	パレスホテル
17日(金)	貿易部会	Zo Saigon
18日(土)	社会貢献委員会ロンアン省「日越橋5」完成式	ロンアン省
	工業団地出張セミナー	ドンナイ省レンタル工場 JSC
	タントアン・リンチュン部会	TTC 会議室
22日(水)	ラウンドテーブルキックオフミーティング	ITPC
	渡邊総領事との夕食会	総領事公邸
	金融・保険部会	CJ Only One Biz Center 会議室
23日(木)	社会貢献委員会	三井住友銀行
	ピンズン部会および納涼祭	十五夜迎賓館
24日(金)	ホーチミン市部会	えびす
29日(水)	【延期】第8回ふらっとJCCH	—

30日(木)	建設部会	サイゴンホテル
31日(金)	渡邊総領事との夕食会	総領事公邸
	第一・第二サービス部会 合同部会	WEB開催

8月

1日(土)	アジア域内日本人会事務局長会議	WEB開催
5日(水)	日越共同イニシアティブ委員会	WEB開催
7日(金)	組織規約委員会	WEB開催
12日(水)	渉外・広報委員会	JCCH
	【延期】新規赴任者向け交流会	—
17日(月)	J会合	総領事館
19日(水)	【延期】工業団地出張セミナー	—
21日(金)	社会貢献委員会	WEB開催
26日(水)	【延期】JCCH会員交流パーティー	—
27日(木)	バリアンブタウ部会	WEB開催

9月

1日(火)	JCCIとの合同会議	WEB開催
4日(金)	事業環境委員会	JCCH
6日(日)	日本人学校入学式	同校
7日(月)	フック首相と日系企業との対話会合	ハノイ
8日(火)	企業交流委員会	WEB開催
10日(木)	渡邊総領事とVCCIとの昼食会	総領事公邸
11日(金)	ドンナイ税関局との打合せ	JCCH
14日(月)	第4回執行役員会	JCCH
	日本人学校運営委員会	JCCH
17日(木)	第3回部会長会	WEB開催
	第5回理事会	WEB開催
18日(金)	第2回日越共同イニシアティブ委員会	WEB開催
	第一サービス部会・貿易部会 合同部会	WEB開催
22日(火)	ドンナイ省税関局との対話集会	同局
	渉外・広報委員会	JCCH
23日(水)	タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地管理棟
	金融・保険部会	CJ Only One Biz Center
	KOSENプログラム導入における産業人材育成についての産官学意見交換会	JETROハノイ
24日(木)	建設部会	サイゴンホテル
	IT部会	Zo Saigon
	社会貢献委員会	三井住友銀行
	渡邊総領事と部会長との夕食懇談会	総領事公邸
25日(金)	ピンズン部会	VSIP 1 管理棟
28日(月)	J会合	総領事館
29日(火)	第1回税制セミナー	WEB開催
	ニュージーランド商会議所との面談	JCCH

10月

2日(金)	第二サービス部会	Zo Saigon
4日(日)	日本人学校運動会	同校
6日(火)	EVFTAに関する座談会	レックスホテル
	企業交流委員会	JCCH
7日(水)	新規赴任者交流会	パレスホテル
8日(木)	法務・労務合同委員会	JCCH
	運輸部会	インターコンチネンタルサイゴン
10日(土)	台湾国慶節レセプション	ホテルニッコーサイゴン
12日(月)	第5回執行役員会	JCCH
	山田大使・渡邊総領事との夕食懇談会	総領事公邸
13日(火)	【延期】VIETNAM BUSINESS FORUM 2020	—
13日(火) ~16(金)	ピンズン省社会経済功績展覧会	同省

14日(水)	ロンアン部会	サッポロベトナム
15日(木)	第6回理事会	レペリーサイゴン
	会員交流パーティー	レペリーサイゴン
17日(土)	ドンナイ省児童福祉施設訪問	ドンナイ省内施設
19日(月)	フック首相夫妻主催晩さん会	首相府新館
21日(水)	渉外・広報委員会	JCCH
22日(木)	社会貢献委員会	JCCH
23日(金)	スポーツ・文化委員会新年会打合せ	WEB開催
	VJCCハノイ訪問	VJCC
26日(月)	ハノイ日本人学校訪問	同校
	第2回税制セミナー	WEB開催
27日(火)	ドンナイ部会・バリアンタウ部会 合同部会	サイゴンホテル
	山田大使による菅首相訪越における成果報告会	在ベトナム日本国大使館
28日(水)	日本人学校小学部3年生向けレク	JCCH
	第8回ふらっとJCCH	ニューワールドホテルサイゴン
29日(木)	第1回生活セミナー	WEB開催&ホテルニッコーサイゴン
30日(金)	J会合	総領事館
	労働法セミナー打合せ	JCCH

11月

2日(月)	JCCH懇親ゴルフコンペ運営スタッフ打合せ	JCCH
4日(水)	OKAMURAショールームオープニングイベント	同社
5日(木)	バリアンタウ省Tho人民委員長表敬訪問	同省人民委員会
8日(日)	JCCH懇親ゴルフコンペ	タンソンニャットゴルフ場
10日(火)	ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル「法務、労務、生活」	ITPC
	企業交流委員会	JCCH
12日(木)	貿易部会	Zo Saigon
13日(金)	ベトナム外務省訪問	ハノイ
	VJCCハノイ訪問	ハノイ
14日(土)	ハノイ貿易大学60周年記念式典	同大学
16日(月)	日本人学校運営委員会	JCCH
	第6回執行役員会	JCCH
17日(火)	ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル「税務、通関」	ITPC
	J会合	総領事館
18日(水)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
	渡邊総領事、CEOクラブとの公邸夕食会	総領事公邸
	第4回部会長会	JCCH
19日(木)	第7回理事会	パレスホテル
	理事と新規入会企業との交流会	パレスホテル
20日(金)	JETRO日台商談会	ニューワールドホテルサイゴン
	WEBサイト更新に関する打合せ	JCCH
23日(月)	スポーツ・文化委員会	東京海上ベトナム
	JCCI会員交流パーティー	ロッテホテルハノイ
24日(火)	山田大使・須藤会頭との意見交換会	大使公邸
	第3回税制セミナー	WEB開催
	【中止】ビンズン省対話集会	同省
25日(水)	金融・保険部会	ホーチミン市地下鉄建設現場
	タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地管理棟
	日本に出逢う(Meet Japan)	ハノイ外務省
26日(木)	運輸部会	えびす
	建設部会	サイゴンホテル
	バリアンタウ部会	JCCH
	第一・第二サービス・IT・ホーチミン市部会 合同部会	ホテルニッコーサイゴン
27日(金)	ビンズン部会	十五夜迎賓館
28日(土)	日越工業大学卒業式	同校
29日(日)	日本人学校中学部卒業式	同校

12月

3日(木)	ドンナイ省ビジネスマッチング	同省
7日(月)	VBF関連打ち合わせ	JCCH
	【延期】カントー市と渡邊総領事の面談	—
8日(火)	【延期】CEOクラブVietnam Economical Outlook	—
	企業交流委員会	JCCH
9日(水)	日越共同イニシアティブ	ハノイ
	渉外・広報委員会	JCCH
11日(金)	労働法セミナー	WEB開催
14日(月)	第7回執行役員会	JCCH
15日(火)	ロンアン部会	JCCH
16日(水)	社会貢献委員会	三井住友銀行
	【中止】ラウンドテーブル本番会議	—
17日(木)	第8回理事会	パレスホテル
18日(金)	FJCCIA事務局局長会議	WEB開催
19日(土)	社会貢献委員会 2000ドン社会食堂への支援	同食堂(4区)
21日(月)	ズン官房長官との対話会合	ハノイ
22日(火)	VIETNAM BUSINESS FORUM 2020	ハノイ
	バリアブントウ省人民委員会との対話集会	同省人民委員会
24日(木)	【延期】ピンズン部会忘年会	—
29日(火)	ITPC幹部との面談	ITPC

2021年

▼開催場所

1月

5日(火)	ロンアン省人民委員会との新年挨拶	総領事館
	総領事と社会保障協定に関する意見交換会	総領事館
7日(木)	CEOクラブ・ベンチェ省との貿易投資促進に関する懇談会	シェラトンサイゴンホテル
8日(金)	【中止】JCCH新年会	—
10日(日)	エースコック・ハピネスコンサート	オペラハウス
12日(火)	FC東京キックオフイベント	タイムズスクエア
	ドンナイ省投資証明書授与セレモニー	ドンナイ省工業団地管理委員会
13日(水)	渉外・広報委員会	JCCH
	社会貢献委員会	三井住友銀行
14日(木)	貿易部会	WEB開催
15日(金)	ロンアン省工業団地等の視察	ロンアン省工業団地
	企業交流委員会	JCCH
16日(土)	社会貢献委員会 An Nhon Tay中学校・高校への図書寄贈	同校
	日本人学校運営委員会	JCCH
18日(月)	第8回執行役員会	JCCH
19日(火)	バリアブントウ部会ロンソン石化(LSP)建設現場と浄水場の視察	バリアブントウ省
	第5回部会長会	JCCH
21日(木)	第9回理事会	パレスホテル
22日(金)	JCCHプレゼン大会	WEB開催
	第5回税制セミナー	WEB開催
26日(火)	VJCC施設改修記念式典	VJCC
	金融・保険・第一サービス部会 合同部会	ルネッサンスリバーサイドホテル
27日(水)	タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地管理棟
	建設部会	サイゴンホテル
28日(木)	IT部会	Zo Saigon
	自治体産品PRイベント	総領事公邸
29日(金)	【中止】JCCH忘年会	—
30日(土)	社会貢献委員会 児童福祉施設訪問	ホーチミン市9区

2月

2日(火)	第2回生活セミナー	WEB開催
22日(月)	第9回執行役員会	JCCH
23日(火)	渉外・広報委員会	JCCH
	ドンナイ部会	ロッテホテル
24日(水)	社会貢献委員会	三井住友銀行
	J会合	総領事館
25日(木)	日本人学校運営委員会	JCCH
	第10回理事会	パレスホテル
26日(金)	バリアブントウ部会	JCCH

3月

4日(木)	貿易部会	Zo Saigon
6日(土) ・7日(日)	【延期】ジャパンベトナムフェスティバル(日越交流ほんおどり大会)	—
11日(木)	日本人学校卒業式	同校
12日(金)	【延期】ピンズン・第一サービス・第二サービス合同部会	—
15日(月)	KOCHAMとのミーティング	JCCH
	第10回執行役員会	JCCH
17日(水)	FJCCIA事務局長会議	WEB開催
18日(木)	第6回部会長会	パレスホテル
	第11回理事会	パレスホテル
19日(金)	バリアブントウ部会	JCCH
23日(火)	ドンナイ部会	ホテルニッコーサイゴン
	タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地管理棟
24日(水)	JBIC「海外事業展開調査(海外直接投資アンケート)」の調査結果に関するオンライン説明会	WEB開催
	金融・保険部会	Dim Tu Tac
	建設部会	サイゴンホテル
25日(木)	IT部会	Zo Saigon
	労働法セミナー	WEB開催
26日(金)	貿易部会	ホテルニッコーサイゴン
	社会貢献委員会	三井住友銀行
	ピンズン・第一サービス・第二サービス部会合同部会	ロッテレジェンドホテルサイゴン

役員・委員一覧 (2021年3月現在)

会 頭	岡田 英之 (TMI 総合法律事務所)
副 会 頭	比良井 慎司 (JETRO ホーチミン事務所) 蔭山 泰弘 (みずほ銀行) 水嶋 恒三 (双日ベトナム) 矢口 武 (伊藤忠ベトナム)
事 務 局 長	上田 真也 (大阪商工会議所)
監 事	上阪 克之 (全日本空輸)

実行委員会	委 員 長	副委員長	委 員
事業環境委員会	矢口 武 (伊藤忠ベトナム)	中川 幹久 (長島・大野・常松法律事務所) 小野瀬 貴久 (EYベトナム) 吉田 盛 (AGCケミカルズベトナム)	高木 陽平 (在ホーチミン日本国総領事館) 荒井 泰資 (ベトナム日本製鉄) 水野 善之 (損害保険ジャパン) 柳谷 正明 (富士ゼロックスベトナム) 村松 良亮 (みずほ銀行) 三谷 旭 (富士ゼロックスベトナム) 後藤 敏 (伊藤忠ベトナム) 長谷川 涼 (在ホーチミン日本国総領事館)
法務委員会	中川 幹久 (長島・大野・常松法律事務所)	吉田 盛 (AGCケミカルズベトナム)	渡邊 豊 (TOWA VIETNAM) 小野瀬 貴久 (EYベトナム) 大矢 和秀 (西村あさひ法律事務所) 三木 康史 (アンダーソン・毛利・友常法律事務所) 安池 久美 (JETROホーチミン事務所) 近藤 秀彦 (JETROホーチミン事務所) 安部 智 (ピナエコボード) 田村 和正 (JFEメカニカルベトナム) 児玉 圭太 (VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL) 村田 規明 (サイゴンプレジジョン) 小川 めぐみ (在ホーチミン日本国総領事館) 加藤 貢市 (メイトウベトナム) 福田 聡志 (きらぼしビジネスコンサルティング) 有光 将人 (ベトナム日本製鉄)
労務委員会	吉田 盛 (AGCケミカルズベトナム)	中川 幹久 (長島・大野・常松法律事務所)	渡邊 豊 (TOWA VIETNAM) 小野瀬 貴久 (EYベトナム) 大矢 和秀 (西村あさひ法律事務所) 三木 康史 (アンダーソン・毛利・友常法律事務所) 安池 久美 (JETROホーチミン事務所) 近藤 秀彦 (JETROホーチミン事務所) 安部 智 (ピナエコボード) 田村 和正 (JFEメカニカルベトナム) 児玉 圭太 (VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL) 村田 規明 (サイゴンプレジジョン) 加藤 貢市 (メイトウベトナム) 福田 聡志 (きらぼしビジネスコンサルティング) 有光 将人 (ベトナム日本製鉄)
税務・通関委員会	小野瀬 貴久 (EYベトナム)	渡邊 洋平 (ドラゴンロジスティクス)	高橋 正明 (郵船ロジスティクスベトナム ホーチミン支店) 廣田 弘毅 (山九ベトナム) 阿部 浩明 (JETROホーチミン事務所) 高田 真 (エスネットワークスベトナム) 鶴田 明久 (AGS JOINT STOCK COMPANY) 堀切 康孝 (AGS JOINT STOCK COMPANY) 小熊 崇史 (KPMG(朝日・あずさ監査法人)) 浅野 智道 (EYベトナム) 唐牛 理任 (GRANT THORNTON VIETNAM)
社会貢献委員会	八木 崇典 (三井住友銀行)	白井 勝彦 (サッポロベトナム)	中田 陽佑 (ブラマテルズベトナム) TRAN MANH HUNG (マイナビ ホーチミン駐在員事務所) LE THUY DIEU UYEN (ジェイエイシーリクルートメント) 品田 知美 (ファーストアライアンス(パソールベトナム)) NGO HONG NHUNG (アイグローカル) 龍田 早紀 (損害保険ジャパン) 西川 あゆ (ロツレジェンドホテルサイゴン) 小松崎 美帆 (レオパレス21ベトナム) HOANG THI THUY NHUNG (レオパレス21ベトナム) NGUYEN NGOC CAM NHUNG (ベトナム・日本人材開発インスティテュート) 白石 英之 (在ホーチミン日本国総領事館) 佐々木 遼 (エイチ・アイ・エス ソンハンベトナムツーリスト) NGUYEN THI THANH TUYEN (三井住友銀行) 村上 拓介 (BDOコンサルティングベトナム) 中野 由貴 (三井住友銀行) 宮崎 史悠 (サッポロベトナム) 福島 健 (インターフード) 長内 照実 (EYベトナム) サポーター 五十嵐 裕佳 (国際交流基金ベトナム日本文化交流センター) 村田 真由 (アオザイ会)

実行委員会	委員長	副委員長	委員
スポーツ・文化委員会	小手川 勲 (東京海上ベトナム)	小野瀬 貴久 (EY ベトナム)	室垣 良太郎 (M2グローバートナーズ) 升本 草原 (セコムベトナムセキュリティサービス) 檜垣 柚 (AAB) 圓東 辰基 (三菱UFJ銀行) 柴田 創 (東京海上ベトナム) 伊藤 美由起 (フォーバルベトナム) 三谷 旭 (富士ゼロックスベトナム) 岩崎 鉄平 (セコムベトナムセキュリティサービス) 昆野 諒介 (EYベトナム) 平田 健佑 (東京海上ベトナム) 荒井 将太 (エイチ・アイ・エス ソンハンベトナムツーリスト)
日本人学校運営委員会	山本 和人 (大成美術プリンティングベトナム)	安江 崇 (東急ティベロップメント)	藤尾 治仁 (ホーチミン日本人学校校長) 原田 卓也 (ホーチミン日本人学校) 岡島 博 (安藤・間 ホーチミン駐在員事務所) 山田 智生 (三井住友銀行)
企業交流委員会	有賀 正宏 (フォーバルベトナム)	工藤 拓人 (CAST LAW VIETNAM)	比良井 慎司 (JETROホーチミン事務所) 山川 宏 (損害保険ジャパン) 檜尾 拓真 (ウェルビーベトナム) 桑原 利明 (ベトナム投資開発銀行) 佐藤 遥 (東京海上ベトナム) 黒田 駿介 (全日本空輸) 小川 久美子 (ベトナム・日本人材開発インスティテュート) 後藤 優也 (フォーバルベトナム)
渉外・広報委員会	藤島 洋 (ALSOK ベトナム セキュリティサービス)	上阪 克之 (全日本空輸) 金山 純 (三谷産業)	江塚 光広 (弘亜社ベトナム) 井上 玄 (ホテルニッコサイゴン) 羽賀 健司 (エイチ・アイ・エス ソンハンベトナムツーリスト) 本多 智恵 (ロジテムベトナム) 櫻井 岳幸 (パイタリフィ アジア) 福田 賀優 (オロベトナム) 坂本 隆太 (サクラエコロジー) 白石 英之 (在ホーチミン日本総領事館) 黒田 駿介 (全日本空輸) 丸山 誠史 (ALSOKベトナムセキュリティサービス)
組織・規約委員会	水嶋 恒三 (双日ベトナム)	藤山 泰弘 (みずほ銀行)	山崎 浩司 (丸紅ベトナム) 荒井 泰資 (ベトナム日本製鉄) 渡邊 豊 (TOWA VIETNAM)

(順不同)

部会理事一覧 (2021年3月現在)

商工部会	理事定数	部会長 (☆新任)	副部会長 (☆新任)	理事 (☆新任)
貿易部会	5	山下 茂樹 (ベトナム住友商事)	細田 裕一 (リコーベトナム)	北澤 謙一 (アルテック・アジア・パシフィック・ベトナム) 山崎 浩司 (丸紅ベトナム) ☆塩 裕之 (豊田通商ベトナム)
建設部会	4	☆田中 大輔 (ベトナム竹中)	田中 伸佳 (日鉄エンジニアリング)	大竹 俊 (ユアテックベトナム) ☆立光 伸行 (神鋼環境ソリューションベトナム)
運輸部会	3	☆小林 信敬 (日本郵船ベトナム)	柏木 隆志 (日新ロジスティクス VN)	☆渡邊 洋平 (ドラゴンロジスティクス)
第一サービス部会	4	根岸 正実 (インテージベトナム)	工藤 拓人 (CAST LAW VIETNAM)	谷 真琴 (ヤマハミュージックベトナム) ☆関 岳彦 (G.A. コンサルタンツベトナム)
第二サービス部会	3	平田 智有 (ゼンショーベトナム)	藤藤 眞太郎 (エイチ・アイ・エス ソンハンベトナムツーリスト(～11月)) 平澤 敦史 (エイチ・アイ・エス ソンハンベトナムツーリスト(11月～))	☆井上 玄 (ホテルニッコサイゴン)
IT部会	3	☆角田 尊和 (KDDIベトナム)	石黒 健太郎 (パイタリフィ アジア)	☆堀江 裕隆 (IVS)
金融・保険部会	3	浜野 健太郎 (三菱UFJリース)	☆梶浦 賢治 (三菱UFJ銀行)	水野 善之 (損害保険ジャパン)
ホーチミン市部会	4	小宮 洋介 (出光興産ホーチミン鉱業所(～10月)) 武村 先 (出光興産ホーチミン鉱業所(10月～))	柳谷 正明 (富士ゼロックスベトナム)	福島 功 (JFE スチールベトナム) 梅戸 俊一 (三菱電機ベトナム)

タントアン・ リンチュン 部会	3	野崎 修一 (ジューキベトナム)	森島 孝夫 (古河オートモーティブパー ツ)	☆村田 規明 (サイゴンプレシジョン)
ビンズン部会	5	☆大沼 稔 (ベカメックス東急)	岸野 保彦 (トンボベトナム)	山本 和人 (大成美術プリンティングベトナム) ☆白子 修 (トモクベトナム) ☆宮浜 健一 (エスファイブサイゴン)
ドンナイ部会	5	☆吉田 直文 (ベトナムNOK)	☆小林 哲至 (神戸イーエヌアンドエムベ トナム)	☆清水 貞光 (ホリーベトナム) ☆田村 和正 (JFEメカニカルベトナム) 原田 智也 (カネパッケージベトナム)
ロンアン部会	2	☆安部 智 (ビナエコボード(~12月)) 関 一郎 (ビナエコボード(12月~))	☆三上 泰史 (コガネイベトナム)	
バリアブンタウ部会	2	岩佐 博之 (VINA KYOEI STEEL)	☆善田 泰史 (ニトリファニチャー バリアブンタウ)	

(順不同)

2020年ベトナムの10大ニュース

(2020年1月~12月)

●新型コロナウイルスとの戦い

世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス。ベトナムも例外ではありませんでした。しかし政府が早め早めに厳しい対策をとったことが奏功して、世界的に見ても被害を最小限で食い止めている国の一つだと言えるでしょう。

●急拡大が続く電子商取引

ここ数年、ベトナムで急速に拡大しているオンラインショッピングと非現金決済。コロナの感染拡大防止のために、政府がオンラインショッピングを推奨したこともあり、取扱金額の増加は必然でしょう。

●日越間の往来に厳しい制限

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、ベトナム政府は外国人の入国に厳しい制限を設けています。短期出張者にとって14日間の隔離は厳しい入国条件の一つとなっています。また増加を続けていた訪日ベトナム人の数も激減しています。

●ダナンに領事事務所を開設

2020年1月6日、念願の在ダナン領事事務所が開設されました。2021年中には総領事館への格上げが期待されています。2018年4月からは日本人補習校も開設されています。

●GDPは約3%のプラス成長を実現

近隣諸国が軒並みマイナス成長に落ち込む中、ベトナムは約3%の経済成長を実現。2021年の成長率は6%を超えると予想されています。しかし旅行業など回復が見えない業界もあり、明暗が分かれました。

●ホーチミン市都市鉄道の開業は2022年に延期

車両の搬入、地下駅の建設など、都市鉄道1号線開業への準備は進んでいます。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大の影響により専門家の入国が難しいなどの事情もあって、遅延は避けられず、営業開始は2022年の予定です。

●菅総理がベトナムを訪問

菅総理が就任後初の外遊先として選んだのはベトナムでした。11月18日から20日にかけてハノイを訪れ、フック首相、チョン共産党書記長兼国家主席、国会議長などと会談を行いました。

●自然災害の被害額は前年の5倍

2020年の自然災害による被害額は37兆4000億ドン(約1676億円)だったそうです。これは前年の約5倍。特に中部は9月下旬から11月中旬にかけて、立て続けに台風が上陸し、甚大な被害が発生しました。

●進出が続く日系企業

コロナ禍にも関わらず、ベトナム人マーケットを狙った日本企業の進出は続いています。特に目立つのが小売業、飲食業、サービス業です。後任なして帰任する駐在員がいる一方、JCCHの会員数は増えています。

●多発する日本在住ベトナム人の犯罪

新型コロナウイルス感染拡大の影響は日本在住ベトナム人にも出ています。当初の在留期間を終えても帰国できない、失業したなどの事情もあって、日本に住むベトナム人による犯罪がしばしば報道されたのは、非常に残念なことでした。

〈ベトナムの経済指標〉

人口	9,762万人(日本:1億2562万人)
主要都市	ホーチミン904万人、ハノイ809万人、ハイフォン203万人、カンター124万人、ダナン114万人
平均年齢	30.9歳(日本:47.2歳)
一人あたりGDP	3,498米ドル(日本:4万0256米ドル)
経済成長率	2.91%(日本:マイナス5.2%)
物価上昇率	3.23%(日本:マイナス0.06%)
労働力人口	5535万人(日本:6666万人)
失業率	2.26%(日本:2.90%)
産業分野別比率	サービス業42%、製造業34%など
法人税標準税率	20%
個人所得税率	5%~35%
貿易輸出額	2,827億ドル(そのうち対日輸出:193億ドル)
貿易輸入額	2,627億ドル(そのうち対日輸入額:203億ドル)

*注:上記の数字は日本およびベトナムの政府系機関が発表している最新の数字を元にしましたが、その正確性を保証するものではありません。

〈日本の10大ニュース〉

1. 新型コロナウイルスの感染拡大止まらず。初の緊急事態宣言。
2. 東京オリンピック・パラリンピックが1年延期。
3. 安倍首相が退陣。菅内閣が発足。
4. 九州豪雨で死者77人を出す甚大な被害。
5. 将棋の藤井聡太さんが最年少で二冠獲得。
6. 映画『鬼滅の刃』が記録的な大ヒット。
7. GDPが年率換算で27.8%減と戦後最大の下落を記録。
8. 複数野党の合流新党「立憲民主党」が発足。
9. レジ袋の有料化が全国の小売店でスタート。
10. 携帯料金引き下げに向け総務省が改革案を発表。

〈世界の10大ニュース〉

1. 新型コロナ拡大でWHOがパンデミック宣言。死者200万人。
2. アメリカ新大統領にバイデン氏がトランプ氏を破って当選。
3. 離脱選から4年半を経て1月31日に英国がEUを離脱。
4. 中国政府が香港統制を強める「香港国家安全維持法案」を可決。
5. アメリカで警官に拘束された黒人男性死亡。抗議デモが世界に。
6. 民間初の有人宇宙船「クルードラゴン」の打ち上げ成功。
7. 地域包括的経済連携(RCEP)に署名。アジアに巨大経済圏誕生。
8. イスラエルとアラブ諸国が国交正常化。
9. 相互に領事館を閉鎖するなど米中対立が激化。
10. 核兵器禁止条約が発効へ。

*日本と世界の10大ニュースは報道機関各社から発表されたものを元に構成しました

事務局長退任にあたって



事務局長
上田 真也

2017年に着任してから4年間、役員・会員企業の皆様、ご関係の皆様方の多大なるご支援により任期を全うできましたことを心より御礼申し上げます。

在任中、特に印象的だったこととして2つ挙げたいと思います。

1つ目は、JBAH(商工会)からJCCH(商工会議所)への改称です。数年来の準備を経て実現した2018年度は、奇しくもJCCHの正式認可20周年、会員企業数1000社突破、日越外交関係樹立45周年、在ASEAN日本商工会議所とASEAN事務総長との対話会合の当地初開催など、大きな節目の年でもありました。JCCHが新たなステージへと飛躍したことを実感する1年でした。

2つ目は新型コロナウイルスの流行です。当地でも事業活動、生活に大きな影響が生じ、JCCH事業も中止や延期が相次ぎました。会員の皆様にはご心配・ご不便をおかけする一方で、イベント開催時には例年以上に大勢の方がご参加くださり、また、部会等でコロナ対応に関する活発な情報交換が行われたこと等を通して、商工会議所の存在意義や使命を改めて見つめ直す機会にもなりました。

まだまだ語りつくせない沢山の出来事がありますが、これらベトナムでの貴重な経験は私にとって大きな財産となりました。JCCHを通じて出会った皆様とも今後未永いご縁を頂けると嬉しく思います。

最後になりますが、JCCH、会員企業の皆様の益々のご発展を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。4年間本当にありがとうございました。

ホーチミン日本商工会議所

住 所 : 1407 Sun Wah Tower, 115 Nguyen Hue,
Dist. 1, HCMC, Vietnam
電 話 : (84) 028-3821-9369
ファックス : (84) 028-3821-9370
業務時間 : 月曜日 ~ 金曜日 8:30 ~ 12:00, 13:30 ~ 17:00
休 日 : 土曜日、日曜日、ベトナム国の定める祝日、
12月30日 ~ 1月3日
Website : <https://jcchvn.org/>
E-mail : info@jcchvn.org
(日本語、英語、ベトナム語可)
FaceBook : <https://www.facebook.com/JCCH.ORG/>

